DIGITAL CAMERA

FinePix A310

準備編

使ってみよう編

応用編

各種設定編

接続編

使用説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書には、フジフイルムデジタルカメラ ファインピックスA310の
使い方がまとめられています。
内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。
http://www.fujifilm.co.jp/または http://www.finepix.com/

BL00254-101(1)

目　次

1 準備編

2 使ってみよう編

3 応用編

4 各種設定編

5 接続編

はじめに

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを
大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。
＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意
あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカード（ xD-ピクチャーカード ）の転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について
液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
●皮膚に付着した場合：
付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
●目に入った場合：
きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
●飲み込んだ場合：
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意
●本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
●本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。
使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。

■製品の取り扱いについて
本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■商標について
● xD-Picture Card、xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™は富士写真フイルム（株）の商標です。
●Macintosh、iMac、iBook、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。
●Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows®Operating Systemです。
●その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

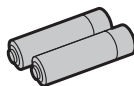
カメラの特長/付属品

カメラの特長

- 第4世代スーパーCCDハニカム HR
  微細加工技術を駆使した新世代のスーパーCCDハニカムHRを搭載し高画素化しました。
- FinePix Photo mode（ファインピックスフォトモード）
  静止画撮影中にフォトモード“*F*”ボタンを押すと、ピクセル（記録画素数）、感度やFinePix カラーの設定画面を直接呼び出すことができ、簡単に設定の変更が可能です。
  再生中に押すと、プリント予約（DPOF）の設定ができ、プリントするコマや枚数を簡単に設定することが可能です。

付属品

- xD-ピクチャーカード　16MB（1枚）
  付属品：専用ケース（1個）

- 単3形アルカリ乾電池 LR6（2本）

- ストラップ（1本）

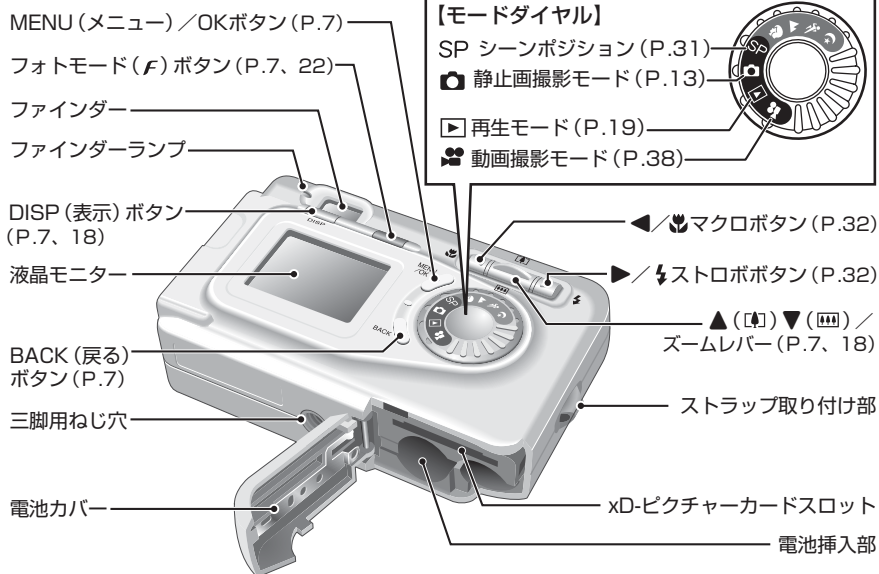
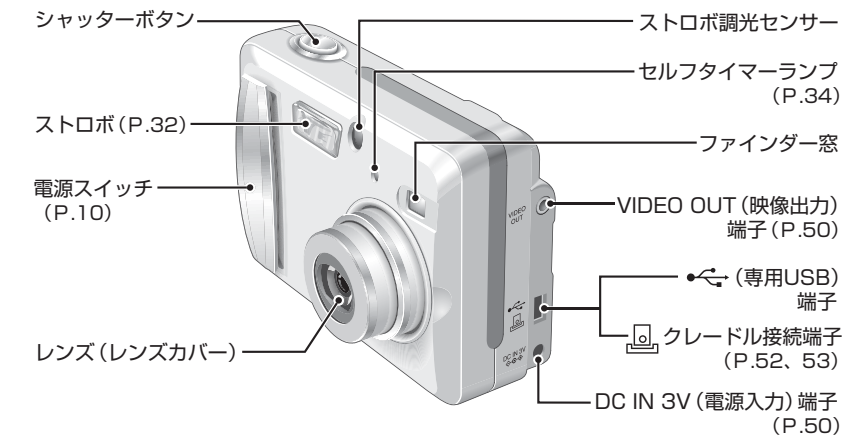
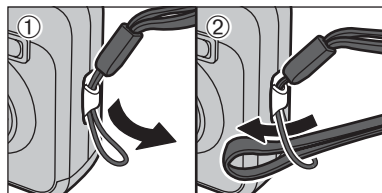
- 専用ビデオケーブル
  φ2.5mmミニミニプラグ×ピンプラグ：
  約1.5m（1本）

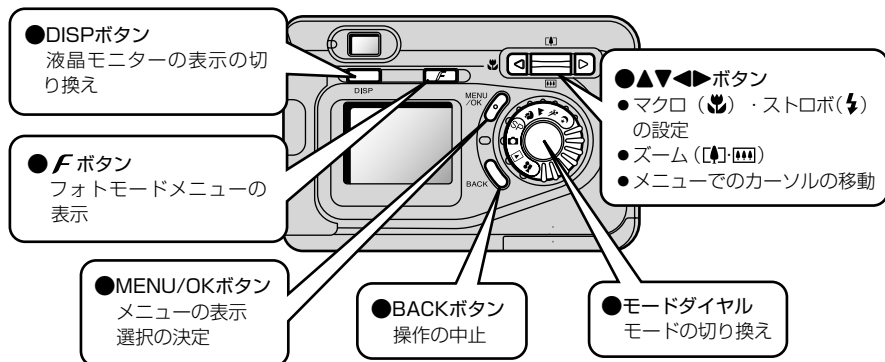
- USBインターフェースセット（1式）
  ・CD-ROM：Software for FinePix SX（1枚）
  ・FinePix A310専用USBケーブル（1本）
  ・ソフトウェア取扱ガイド（1部）
- A310専用クレードルアダプター（1個）

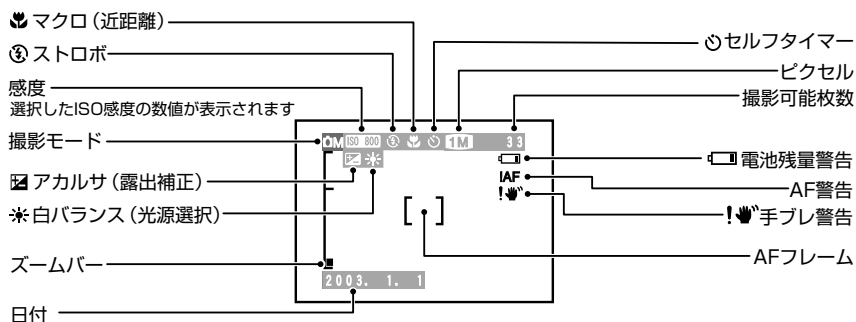
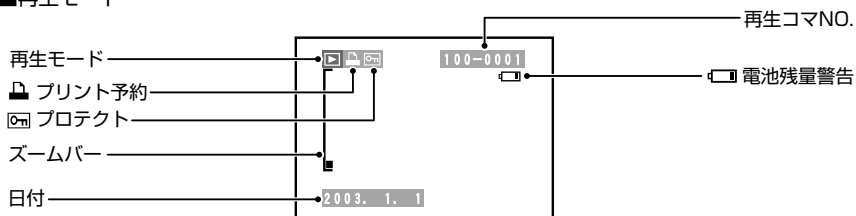
別売のクレードルを接続する際に使用します（56ページをご参照ください）。

- 使用説明書（本書1部）
- 安全上のご注意（1部）
- 保証書（1部）

各部の名称

＊（　）内のページに詳しい説明があります。

ストラップの取り付け

①②の順にストラップを取り付けます。

基本操作ガイド

液晶モニターの文字表示例

■静止画撮影モード

■再生モード

◆ガイダンス(案内)表示について◆

液晶モニター下部に、次のステップに進むためのガイダンス(案内)が表示されますので、対応するボタンを押してください。

DISP ズーム
OK トリミング

ズームするには "DISP" ボタンを、トリミングするには "MENU/OK" ボタンを押します。

1 準備編　電池とメディアを入れる

使用する電池

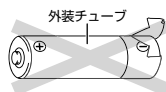
●単3形アルカリ乾電池（2本）、充電式バッテリー NH-10（別売）、または別売の単3形ニッケル水素電池（2本）

単3形アルカリ乾電池は付属のものと同銘柄のご使用をおすすめします。

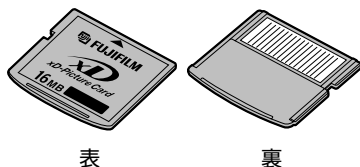
◆電池について◆

- 電池の液もれ、発熱により重大な事故の原因になるため、以下の電池は絶対に使用しないでください。
  1. 外装チューブが破れたりはがれたりしている電池
  2. 種類の違う電池や、新しい電池と使用した電池を混ぜての使用

外装チューブ

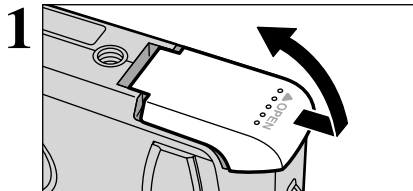
- マンガン乾電池やニカド電池は使用しないでください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると、使用可能時間が極端に短くなることがあります。
- 単3形アルカリ乾電池（以下アルカリ乾電池）は銘柄により使用可能時間に差があり、付属のアルカリ乾電池に比べ、使用可能時間が短い場合があります。また、アルカリ乾電池はその特性上、低温環境（0℃～＋10℃）では使用時間が短くなるため、単3形ニッケル水素電池の使用をおすすめします。
- カメラとクレードルを組み合わせて、専用充電式バッテリーを充電することができます。単3形ニッケル水素電池は、別売の充電器で充電してください。
- **電池についてのご注意は58、59ページをご参照ください。**
- **お買い上げ時や長い間使用しなかった単3形ニッケル水素電池および充電式バッテリー NH-10は、使用可能時間が短くなることがあります。詳細については59ページをご参照ください。**

使用する xD-ピクチャーカード ™（別売）

- DPC-16（16MB）
- DPC-32（32MB）
- DPC-64（64MB）
- DPC-128（128MB）
- DPC-256（256MB）

表　　裏

本カメラでの動作保証は弊社製 xD-ピクチャーカード のみとなります。

xD-ピクチャーカード は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

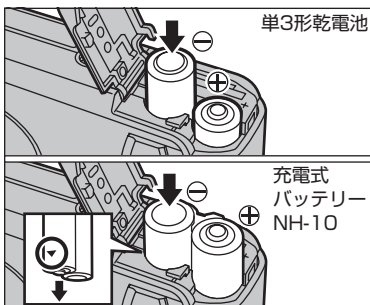
xD-ピクチャーカード についてのご注意は61ページをご参照ください。

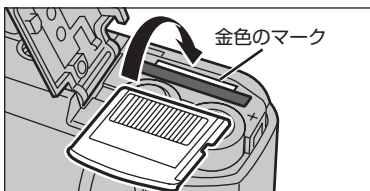
1

電源が切れていること（ファインダーランプが消灯）を確認してから、電池カバーを開けます。

電源が入った状態で電池カバーを開けると、電源が切れます。

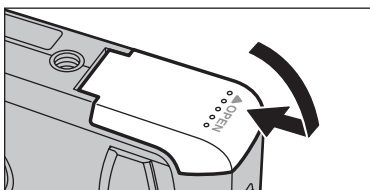
電池カバーに無理な力を加えないでください。

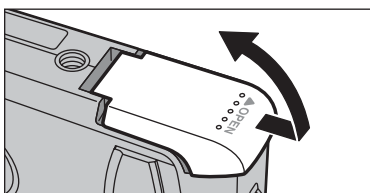
電池カバーは、絶対に電源を入れたまま開けないでください。 xD-ピクチャーカード または画像ファイルなどが壊れることがあります。

2

電池を表示に従って正しく入れます。

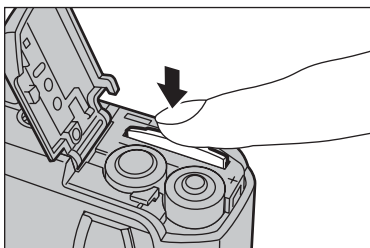
3

xD-ピクチャーカードスロットの金色のマークと、 xD-ピクチャーカード の金色の接触面を同じ向きに合わせて、確実に奥まで差し込みます。

❗ xD-ピクチャーカード の向きが間違っていると奥まで入りません。また、無理な力を加えないでください。

4

電池カバーを閉めます。

◆電池を交換したいときは◆

必ず電源を切ってから電池カバーを開け、電池を取り出してください。

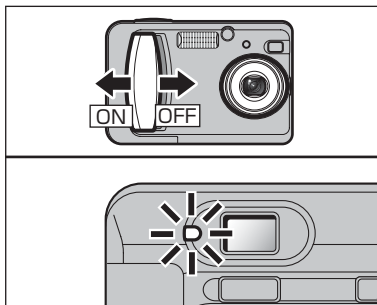
❗ 電池カバーを開閉するときは、電池を落とさないようにご注意ください。

◆xD-ピクチャーカード を交換したいときは◆

xD-ピクチャーカード を押し込んだあと静かに指を戻すと、ロックが外れて xD-ピクチャーカード が押し出されます。
押し出されたあと、 xD-ピクチャーカード を引き出すことができます。

❗ xD-ピクチャーカード を保管するときは、専用ケースまたは専用キャリングケースに入れてください。

❗ ロックが外れた直後に xD-ピクチャーカード から急に指を離すと、 xD-ピクチャーカード が飛び出す場合がありますのでご注意ください。

電源のON/OFF，日時の設定

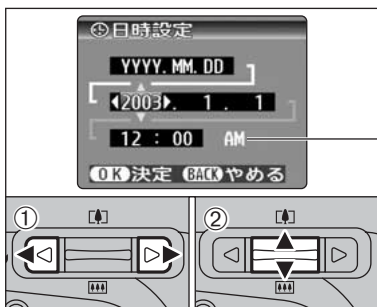
1

電源をON/OFFするには電源スイッチをスライドします。電源を入れるとファインダーランプ[緑] が点灯します。

“📷, SP” または “🎥” モードのときはレンズ部が動き、レンズカバーが開きます。精密部品のため、レンズ部を手で押さえないでください。
“フォーカスエラー” “ズームエラー”が表示され誤作動や故障の原因になります。
また、レンズに指紋がつかないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。

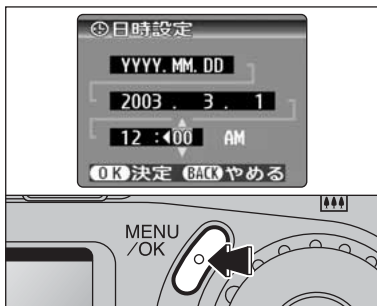
2

初めて電源を入れると、日付がクリアされています。“MENU/OK” ボタンを押して日時を設定します。

- あとで設定するときは “BACK” ボタンを押します。
- 日時を設定しないと電源を入れるたびに確認画面が表示されます。

3

① “◀▶” で年・月・日・時・分を選びます。
② “▲▼” で設定します。

- “▲” または “▼” を押し続けると数字が連続して変わります。
- 時刻表示で “12:00” を越えると、自動的にAM (午前) / PM (午後) が切り換わります。

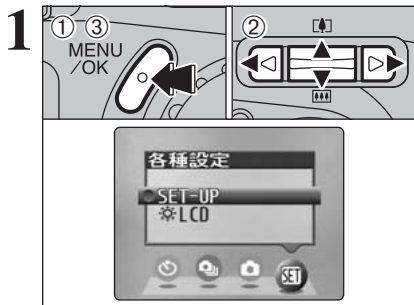
4

日時を設定したら、“MENU/OK” ボタンを押します。
実行すると撮影または再生モードになります。

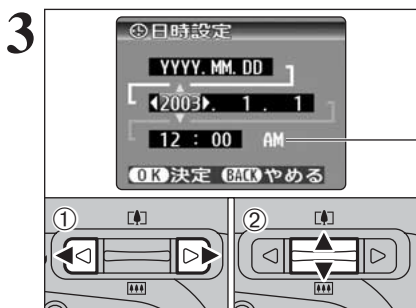
- ご購入時および長時間電池を抜いて放置したあとは、日時設定などの各種設定がクリアされてしまいます。各種設定は、ACパワーアダプターを接続または電池を入れて約30分以上経過していれば、カメラから両方とも取り外しても、約3時間保持されます。

日時の修正，日付の並び順の変更

1

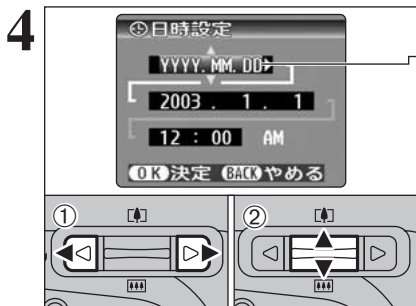
①“MENU/OK” ボタンを押します。
② “◀▶” で “SET” 各種設定を選び、“▲▼” で “SET-UP” を選びます。
③“MENU/OK” ボタンを押します。

2

①“▲▼” で “日時設定” を選びます。
②“▶” を押します。

3

日時を修正をするには

①“◀▶” で年・月・日・時・分を選びます。
②“▲▼” で設定します。

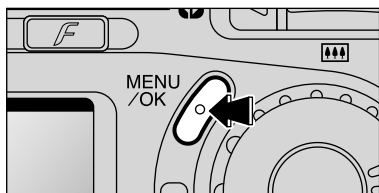
- “▲” または “▼” を押し続けると数字が連続して変わります。
- 時刻表示で “12:00” を越えると、自動的にAM（午前）/PM（午後）が切り換わります。

4

日付の並び順を変更するには

①“◀▶” で “日付の並び順” を選びます。
②“▲▼” で並び順を設定します。設定については下記の表を参照してください。

設　定	説　明
YYYY.MM.DD	「年.月.日」の順に並びます。
MM/DD/YYYY	「月／日／年」の順に並びます。
DD.MM.YYYY	「日.月.年」の順に並びます。

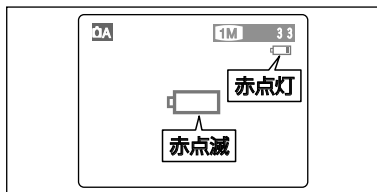
次ページにつづく

5

設定が終了したら、必ず "MENU/OK" ボタンを押します。

◆電池残量の確認◆

電源を入れ、電池残量を確認します。

電池残量表示	
	① 表示なし
	② [電池マーク] 赤点灯
	③ [電池マーク] 赤点滅

①表示なし＊　：電池の残量はあります。
②"[電池マーク]"赤点灯：電池の残量が少なくなっています。新しい電池を準備してください。
③"[電池マーク]"赤点滅：電池の残量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。電池を交換してください。

"[電池マーク]" は液晶モニターの右端に小さく表示されます。
"[電池マーク]" は液晶モニターに大きく表示されます。

! 上記は撮影モードでの目安です。モードや電池の種類によっては "[電池マーク]" から "[電池マーク]" になるまでの時間が短くなることがあります。
! 温度が低いところで使用したとき、電池の特性上電池残量不足 "[電池マーク]" が早くでる場合があります。故障ではありません。電池をポケットなどで暖めて使用することをおすすめします。

＊電池残量表示

1）カメラの動作状態により消費電力は大きく変化します。このために、再生モードでは電池残量表示 "[電池マーク]"、"[電池マーク]" がでていなくても、撮影モードでは表示がでる場合があります。
2）電池の消耗の度合いや電池の種類によっては、電池残量表示がでないでカメラの電源が切れることがあります。一度電池切れになった電池を再使用した場合にはこの現象が起こりやすくなります。

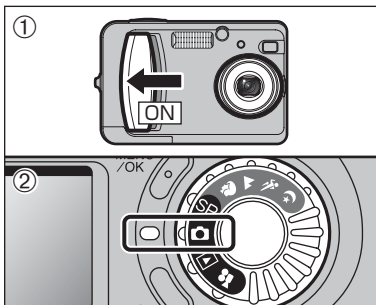
上記の2)の場合は、新しい電池または充電済みの電池にすぐに交換してください。

◆パワーセーブ機能◆

2分間操作しないと電源が自動的に切れます。機能有効時は、約30秒間操作をしないと液晶モニターを消し、消費電力を抑えます（詳しくは➡48ページ）。その後しばらく放置（2分間）すると自動的に電源が切れます。再度、電源を入れるには、いったん電源スイッチをスライドさせて入れ直します。

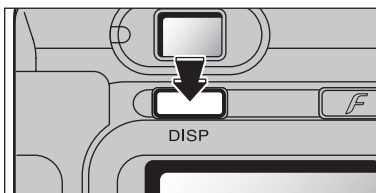
📷 静止画撮影モード

静止画を撮影してみましょう（📷Aオート撮影）

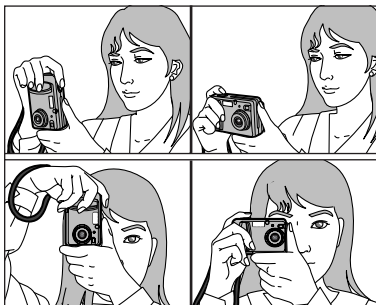
1

①電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
②モードダイヤルを“📷”に合わせます。

●撮影可能距離：約60cm～無限遠

❗約60cmより近づいた場合にはマクロを設定してください（➡32ページ）。

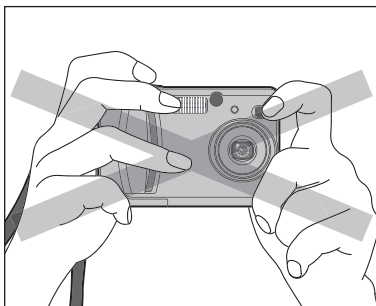
❗“カードエラー”“カードがありません”“空き容量がありません”“フォーマットされていません”が表示された場合は、62ページをご参照ください。

ファインダー撮影するときは“DISP”ボタンを押して液晶モニターをOFFにします（OFFにすると電池が長持ちします）。

❗マクロ撮影時は液晶モニターをOFFにできません。

2

両脇を締め、両手でカメラを構えます。
右手の親指はズーム操作がしやすい位置に置きます。

❗撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因になります。とくに、暗い場所でストロボ発光禁止にして撮影する場合は手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

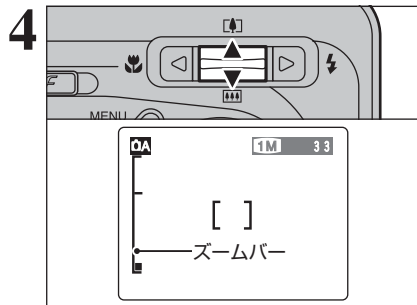
❗液晶モニターの下端に明るさのムラがありますが、故障ではありません。撮影した画像には影響はありません。

3

レンズ、ストロボ、ストロボ調光センサーに、指やストラップが掛からないようにしてください。指やストラップが掛かると、適正な明るさ（露出）で撮影ができないことがあります。

❗レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は58ページを参照してレンズをきれいにしてください。

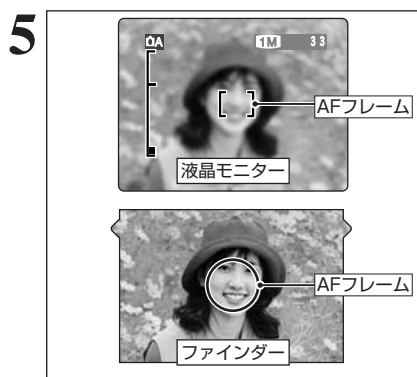
❗雪のときやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボ光が雪やほこりに反射して画像に白点が写ることがあります。ストロボ発光禁止での撮影をお試しください。

次ページにつづく

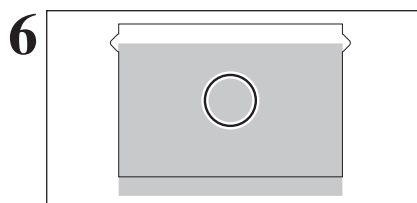
4

被写体を大きく写したいときは、ズームレバー“▲”（望遠）を押します。広い範囲を写したいときは、“▼”（広角）を押します。このとき液晶モニターに“ズームバー”が表示されます。

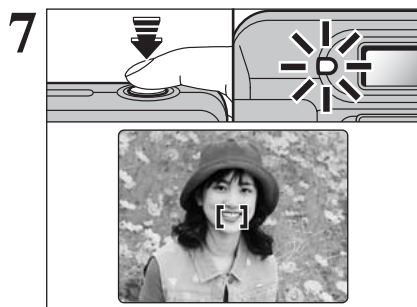
●光学ズーム焦点距離（35mmカメラ換算）
約38mm〜約114mm相当
最大ズーム倍率 3倍

光学ズームとデジタルズーム（➡18ページ）の切り換わり時は、いったんズームが止まります。もう一度同じ方向にズームレバーを押すと切り換わります。

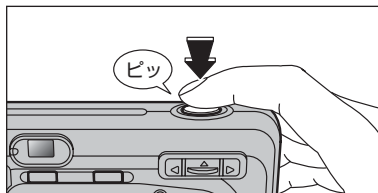
5

液晶モニターまたはファインダーを使って、被写体がAF（オートフォーカス）フレーム全体を満たすようにねらいます。

- 被写体がAFフレームから外れてしまう場合は、AF/AEロック撮影を行ってください（➡17ページ）。
- 撮影前に液晶モニターで見る画像と実際に記録される画像は、明るさや色などが異なる場合があります。必要に応じて、再生してご確認ください（➡19ページ）。
- 撮影範囲の中心を正確に合わせたい場合は、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。
- 明るい屋外や薄暗いシーンなどでは、液晶モニターで被写体が確認しにくいことがあります。その場合は、ファインダーの使用をおすすめします。

6

ファインダー撮影では、被写体までの距離が約0.6m〜1.5mの場合、図の▢の部分が撮影されます。

7

シャッターボタンを半押しします。液晶モニターのAFフレームが小さくなり、ファインダーランプ［緑］が点滅から点灯に変われば、ピント合わせは完了です。

- 液晶モニターに“!AF”が表示されたときは、ピントが合っていません。
- シャッターボタンを半押しすると、一時的に液晶モニターの映像が止まりますが記録される画像とは異なります。
- “!AF”が表示された場合（暗くてピントが合わないなど）、被写体から2m程度離れて撮影してください。

8

半押しのままさらにシャッターボタンを押し込むと（全押し）、“ピッ” と音が鳴り撮影されます。続いて画像が記録されます。

- シャッターボタンを押したときから、一瞬遅れて撮影されますので、必要に応じて再生してご確認ください。
- シャッターボタンをいっきに全押しするとAFフレームは変化せず、そのまま撮影されます。
- 撮影するとファインダーランプが橙色に点灯し（撮影不可）、その後緑色に変わると撮影できます。
- ストロボ充電中はファインダーランプが橙色に点滅します。液晶モニターがONの場合は一瞬黒い画面になる場合がありますが、異常ではありません。
- 警告表示については62～63ページをご参照ください。

■ファインダーランプ表示について

表　示	状　態
緑点灯	準備完了（撮影可能）
緑点滅	AF・AE動作中または手ブレ、AF警告（撮影可能）
緑・橙の交互点滅	xD-ピクチャーカード に記録中（撮影可能）
橙点灯	xD-ピクチャーカード に記録中（撮影不可）
橙点滅	ストロボ充電中（ストロボ発光しません）
緑点滅（1秒間隔）	パワーセーブ中（➡48ページ）
赤点滅	● xD-ピクチャーカード についての警告 未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、空き容量がない、 xD-ピクチャーカード 異常 ● レンズ動作異常

＊液晶モニターに詳しい警告が表示されます（➡62～63ページ）。

◆オートフォーカスの苦手な被写体◆

このカメラは、正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わない状態で撮影されることがあります。

- ●鏡・車のボディなど光沢があるもの
- ●ガラス越しの被写体
- ●髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- ●煙や炎などのように実体のないもの
- ●被写体が暗いとき
- ●被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- ●高速で移動する被写体
- ●AFフレーム付近に主被写体の他に明暗差がはっきりしている被写体が手前や後方にあるとき(コントラストの強い背景の前の人物など)

このような場合にはAF/AEロック（➡17ページ）をお使いください。

撮影可能枚数について

液晶モニターに撮影可能枚数が表示されます。

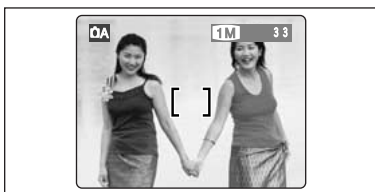
- ピクセル設定の変更は、23ページをご参照ください。
- 工場出荷時の“ ” ピクセルは1Mです。

■ xD-ピクチャーカード 標準撮影枚数

新しい xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットした状態で表示される標準的な枚数です。 xD-ピクチャーカード の容量が大きくなるほど標準的な枚数と、実際に表示される枚数に差がでることがあります。
また、被写体によって記録されるデータ量が一定ではなく、撮影枚数が2コマ減ったり、減らなかったりします。そのため、実際に記録可能な枚数が少なくなることや、多くなることがあります。

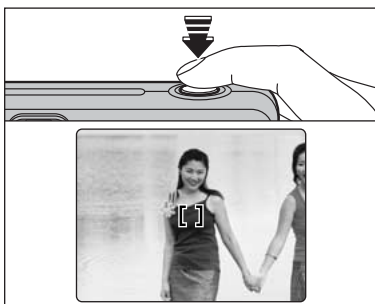
ピクセル	6M 6M	3M 3M	1M 1M	03M 0.3M
記録画素数	2816×2120（約600万）	2048×1536（約315万）	1280×960（約123万）	640×480（約31万）
DPC-16（16MB）	10	19	33	122
DPC-32（32MB）	21	40	68	247
DPC-64（64MB）	43	81	137	497
DPC-128（128MB）	86	162	275	997
DPC-256（256MB）	173	325	550	1997

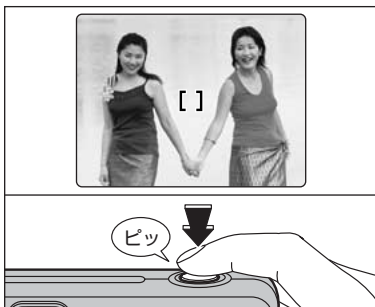
AF/AEロック撮影

1

このような構図では被写体（この場合は人物）がAFフレームから外れています。このまま撮影すると人物にピントが合いません。

2

被写体がAFフレームに入るようにカメラを少し動かします。

3

そのままシャッターボタンを半押しします（AF/AEロック）。液晶モニターのAFフレームが小さくなり、ファインダーランプ［緑］が点滅から点灯に変われば、ピント合わせは完了です。

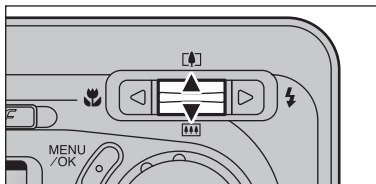
4

シャッターボタンを半押し（AF/AEロック）のまま最初の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押し込みます。

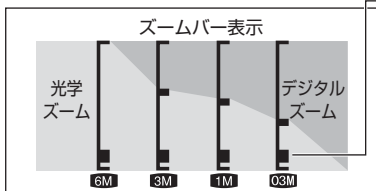
- AF/AEロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
- AF/AEロック撮影は、どのような撮影方法でも有効です。AF/AEロックをうまく活用しましょう。

◆AF（オートフォーカス）/AE（オートエクスポージャー）ロック◆

このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定（AF/AEロック）します。
画面の端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF/AEロックをしてから構図を変えて撮影するときれいに撮影できます。

使ってみよう編

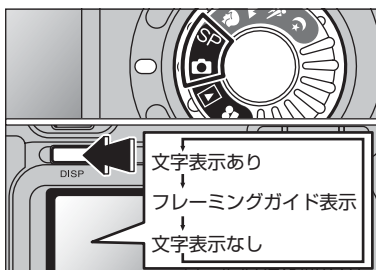
ズーム撮影（光学ズーム，デジタルズーム）

“▲（[♠]）”“▼（[♠♠♠]）”を押すとズームできます。
ピクセル（画像サイズ）設定が“3M”“1M”か“03M”の場合はデジタルズームできます。
光学ズームとデジタルズームを切り換える際に、いったん“■”が停止します。もう一度同じ方向に押すと、“■”が動いて切り換わります。

- “6M”ではデジタルズームはできません。
- ピクセル（画像サイズ）設定の変更（➡23ページ）。
- ズームしてピントがずれた場合、シャッターボタンを半押ししてください。

ズームバーの“■”の位置でズームの状態が分かります。

- 区切りより下の場合は光学ズーム、区切りより上の場合はデジタルズームです。

- デジタルズームは液晶モニターを使用した撮影でのみ有効です。

- 光学ズーム焦点距離（35mmカメラ換算）
  約38mm～約114mm相当　最大ズーム倍率 3倍
- デジタルズーム焦点距離（35mmカメラ換算）
  3M：約114mm～約156mm相当　最大ズーム倍率 1.37倍
  1M：約114mm～約251mm相当　最大ズーム倍率 2.2倍
  03M：約114mm～約330mm相当　最大ズーム倍率 2.9倍

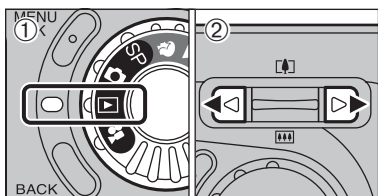
ベストフレーミング

“📷”または“SP”で設定できます。
“DISP”ボタンを押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。“DISP”ボタンを押して“フレーミングガイド”を表示します。

◆重要◆
必ずAF/AEロックを使って構図を決めてください。AF/AEロックをしないとピントが合わないことがあります。

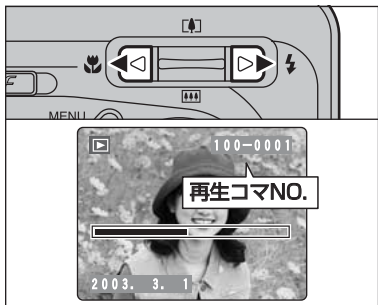
縦横3分割フレーム

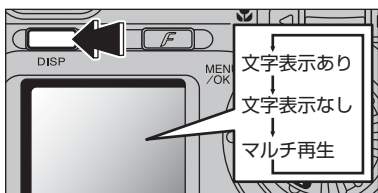
主要な被写体を縦横の交点に配置したり、横のラインに地平線や水平線を合わせて使用します。
被写体の大きさやバランスを見ながら、意図的な構図で撮影できます。

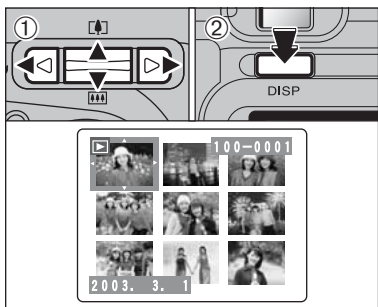
- フレーミングガイドは画像に記録されません。
- 縦横3分割フレームのラインは、縦横の記録画素数の3分割の目安です。プリントすると3分割の位置から少しずれる場合もあります。

画像を見るには(再生)

1コマ再生

①モードダイヤルを“▶”に合わせます。
②“▶”順送り、“◀”逆送りで画像を見ることができます。

● モードダイヤルを“▶”に合わせたときは、最後に撮影した画像が再生されます。
● 再生時にレンズが出ているときは、約6秒間操作しないとレンズ保護のため、レンズが収納されます。

画像の早送り

再生中に“◀”または“▶”を約1秒間押し続けると再生コマNO.が増減し、画像を早送りできます。表示されている画像は変わりませんが、 **xD-ピクチャーカード** 内のおおよその再生位置が目安となるバーで表示されます。

マルチ再生

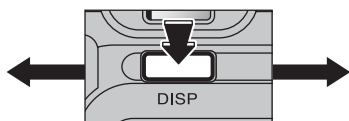
再生モードでは“DISP”ボタンを押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。“DISP”ボタンを押してマルチ再生(9コマ)にします。

①“▲▼◀▶”でカーソル(橙色の枠)を動かして、コマを選べます。数回“▲”か“▼”を押すと次のページに切り換わります。
②もう一度“DISP”ボタンを押すと、選んだ画像を大きく表示することができます。

● 液晶モニターの文字表示は約3秒後に消えます。
● 再生ズーム中はマルチ再生はできません。

◆再生できる静止画について◆

本機で記録した静止画、または、 **xD-ピクチャーカード** 対応の弊社製デジタルカメラで記録した静止画(一部非圧縮画像を除く)が再生できます。

次ページにつづく

1コマ再生中にズームして、撮影した画像の確認をしたり、トリミングして見せたい部分だけ保存できます。

1コマ再生中に“▲(［♠］)” “▼(［♠♠♠］)”を押すと静止画をズーム(拡大)します。このとき“ズームバー”が表示されます。

“▲▼◀▶” を押すと、見える範囲を移動できます。

●ズーム倍率

ピクセル	最大ズーム倍率
6M(2816×2120ピクセル)	18倍
3M(2048×1536ピクセル)	13倍
1M(1280×960ピクセル)	8倍
03M(640×480ピクセル)	4倍

ズーム倍率によって保存される画像サイズが変わり、0.3Mになる場合は “OK トリミング” の文字が黄色になります。
さらに0.3M以下になると “OK トリミング” 表示が消えます。

トリミングするときは、“MENU/OK” ボタンを押します。

トリミング

保存されるサイズを確認し、“MENU/OK” ボタンを押します。トリミングした画像は最後のコマに別ファイルで追加されます。

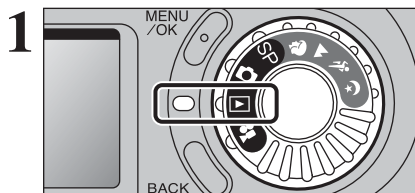
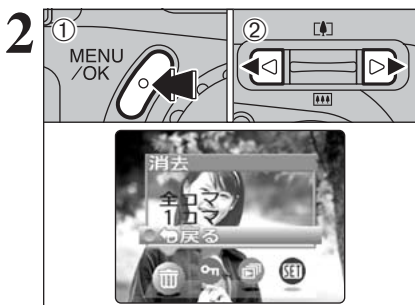
■画像サイズについて

3M	A4/A5サイズ程度でプリントする場合や、画像の一部をトリミングしてA6サイズ程度でプリントする場合。
1M	A6サイズ程度でプリントする場合。
03M	電子メールへの画像添付やホームページへの利用。

画像を消すには（1コマ消去）

1

モードダイヤルを“▶”に合わせます。

2

①再生中に“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。
②“◀▶”で“🗑”消去を選びます。

誤ってコマ（ファイル）を消去すると、元に戻せません。ご注意ください。消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

3

①“▲▼”で“1コマ”を選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押して決定します。
全コマについて詳しくは41ページをご参照ください。

4

①“◀▶”で消去するコマ（ファイル）を選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のコマ（ファイル）を消去します。
続けて消去するには①②を繰り返します。
消去を終えるには“BACK”ボタンを押します。

❗“MENU/OK”ボタンを繰り返し押すと連続して消去されます。誤って消去しないよう注意してください。

F フォトモード

FinePix Photo mode（ファインピックス フォト モード）について

撮影シーンの明るさなどに応じて設定する

感度

プリントサイズなどの用途に応じて設定する

ピクセル

プリントするコマや枚数を簡単に設定する

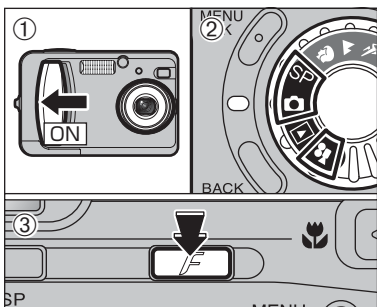
プリント予約

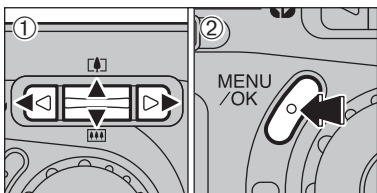
色味、階調など雰囲気を変える

FinePixカラー

よく使う機能を一つのボタンにまとめました！

ピクセル（記録画素数）

1

①電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
②モードダイヤルを“📷，SP”または“🎥”に合わせます。
③“𝑭”ボタンを押します。

2

①“◀▶”で“ピクセル”を選び、“▲▼”で設定を変更します。
②“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

❗モードダイヤルを“▶”にしたり、電源スイッチをオフにしても、ピクセル設定は保持されます。

静止画撮影モード（📷，SP）のピクセル設定

4種類の設定から選べます。下の表を目安にして目的に応じた設定をしてください。

❗各設定の右側の数値は、撮影可能枚数です。
❗ピクセル設定を変更すると、撮影可能枚数(➡16ページ)が変わります。

ピクセル	用途例
6M 6M（2816×2120）	A4サイズ程度でプリントする場合や、画像の一部をトリミングしてA5/A6サイズ程度でプリントする場合。
3M 3M（2048×1536）	A4/A5サイズ程度でプリントする場合や、画像の一部をトリミングしてA6サイズ程度でプリントする場合。
1M 1M（1280×960）	A6サイズ程度でプリントする場合。
0.3M 0.3M（640×480）	電子メールへの画像添付やホームページへの利用。

◆高感度撮影時のピクセル設定について◆

高感度に設定しているときにピクセル設定で“1M”以外に変更しようとすると、“ISO 800”が点滅表示され変更できません。

動画撮影モード（🎥）のピクセル設定

2種類の動画サイズを選べます。画質を優先する場合は“320”を、撮影時間を長くする場合は“160”を選びます。

	動画サイズ	最長撮影時間
320	320×240	120秒
160	160×120	480秒

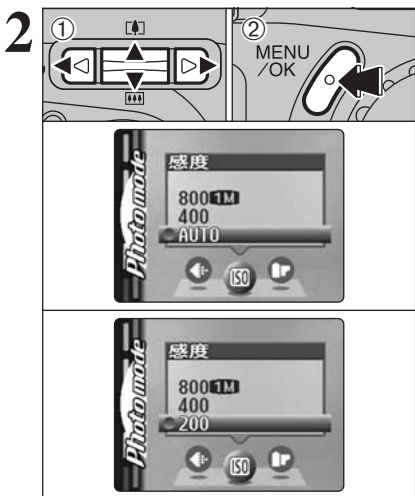
応用編

ISO 感度

1

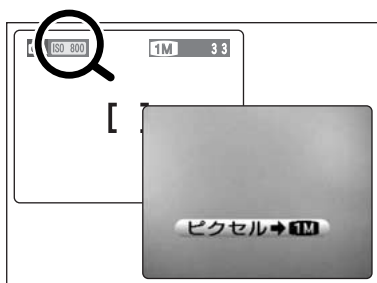
①電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
②モードダイヤルを“📷”または“SP”に合わせます。
③“F”ボタンを押します。

“🎥”動画撮影モードは“感度”の設定ができません。

2

①“◀▶”で“ISO”感度を選び、“▲▼”で設定を変更します。
②“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

●設定値
📷A：　AUTO・400・800
📷M，SP：200・400・800

感度設定AUTOを選ぶと、被写体の明るさに適した感度が自動設定されます。
感度設定AUTOは撮影モード“📷A”で選べます。

感度の設定値が大きくなるほど、より暗いところでの撮影ができるようになりますが、画像に粒子状のノイズが増えます。また、夜空などのシーンではスジ状のノイズが見える場合もあります。
状況に応じて、感度設定を使い分けてください。

高感度撮影（800）

高感度（800）に設定すると、自動的にピクセル設定が“1M”に設定されます。
高感度撮影のときは、液晶モニターに“ISO 800”が表示されます。

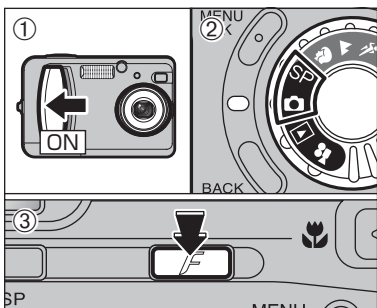
高感度に設定すると、撮影前に液晶モニターで見る画像もノイズが増えますが、故障ではありません。

高感度撮影では、デジタルズームできません。

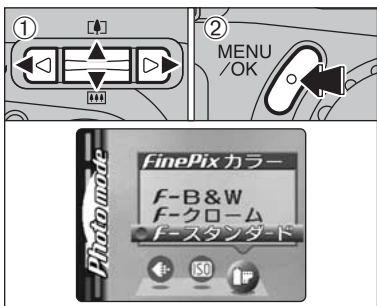
■高感度撮影時のカメラ設定について
電源スイッチや、モードダイヤルを操作しても感度設定は高感度設定のまま保持されます。

◆高感度撮影時のピクセル設定について◆
高感度に設定しているときにピクセル設定（➡23ページ）で“1M”以外に変更しようとすると、“ISO 800”が点滅表示され変更できません。

FinePixカラー

1

①電源スイッチをスライドさせ、電源をいれます。
②モードダイヤルを“📷”または“SP”に合わせます。
③“F”ボタンを押します。

❗“🎥”動画撮影モードは“FinePixカラー”の設定ができません。
❗FinePixカラーは電源をOFFにしても、モードダイヤルを切り換えても保持されます。

2

①“◀▶”で“FinePixカラー”アイコン FinePixカラーを選び“▲▼”で設定を変更します。
②“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

F-スタンダード：コントラスト・色味を標準に設定します。通常はこの設定でお使いください。

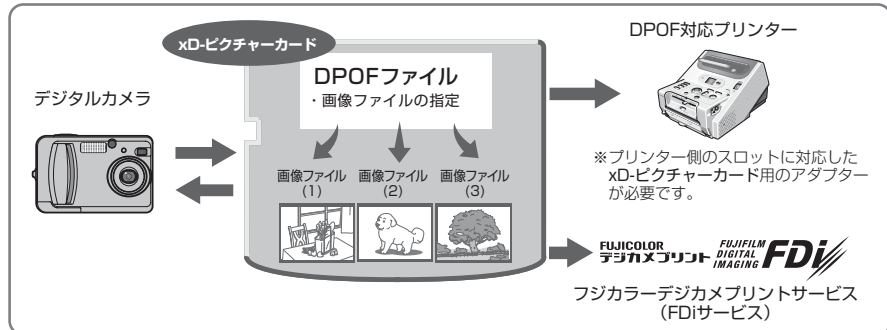
F-クローム：コントラスト・色が強めに撮影されます。風景（青空や深緑）や花などがより鮮やかに撮影され効果を発揮します。

❗効果のわかりにくい被写体：人物のアップ（ポートレート）
❗画像に対する効果はシーンによって異なるため、スタンダードとの併用をおすすめします。また、液晶モニターでは差がわからない場合があります。
❗F-クロームで撮影するとExifPrint対応プリンタでは、自動画質補正が抑制されます。

F-B&W：撮影した画像を黒白にするときに設定します。

🖶 プリント予約（1コマ設定，解除）

🖶 プリント予約（DPOF）について

DPOF（ディーポフ）とはDigital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数などの指定情報を **xD-ピクチャーカード** などに記録するときの形式です。

- DPOF対応デジタルカメラ（本機）では上記の情報をカメラの操作で **xD-ピクチャーカード** に記録することができます。
- DPOF情報を記録した **xD-ピクチャーカード** を、フジカラーデジカメプリントサービス（FDiサービス）取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。
- DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマ（画像ファイル）を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

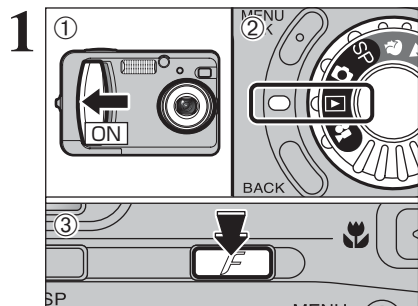
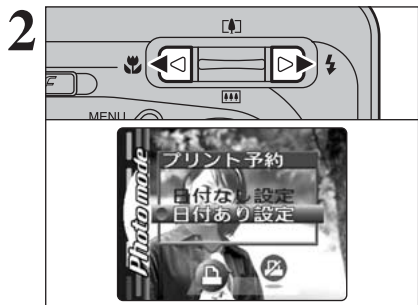
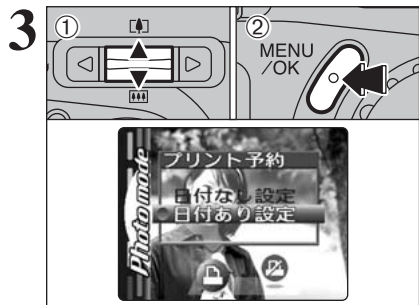
🖶 プリント予約（1コマ設定，解除）

1

①電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
②モードダイヤルを“▶”に合わせます。
③“𝓕”ボタンを押します。

2

“◀▶”で“🖶”プリント予約を選びます。

3

①"▲▼"で"日付あり設定"か"日付なし設定"を選びます。"日付あり設定"にすると、プリントに日付が印字されます。
②"MENU/OK"ボタンを押します。

❗"日付あり設定"にするとプリントサービスかDPOF対応プリンターなどで日付を入れてプリントできます(プリンターの仕様によっては日付が入らないことがあります)。

◆他の機種でプリント予約が設定してあるとき◆

他の機種でプリント予約されたコマ(ファイル)がある場合は"(予約再設定OK?)"と表示されます。
"MENU/OK"ボタンを押すと、すでにプリント予約された設定はすべて消去されます。新たにプリント予約をやり直す必要があります。

❗"BACK"ボタンを押すと設定を変更しません。
❗前回の設定は、再生時に"🖶"が表示され確認できます。

4

①"◀▶"で設定するコマ(ファイル)を選びます。
②"▲▼"でプリントするコマ(ファイル)にプリント枚数を99枚まで設定できます。プリントしないコマ(ファイル)はプリント枚数を0枚に設定します。
続けて設定するには、①②を繰り返します。

❗同一 xD-ピクチャーカード 内で999コマの画像にプリント予約できます。
❗動画はプリント予約できません。

設定中に"BACK"ボタンを押すと、新規設定がすべてキャンセルされます。すでにプリント予約されていたときは、修正のみキャンセルします。

5

設定が終了したら、必ず"MENU/OK"ボタンを押します。
"BACK"ボタンを押すとプリント予約されません。

◆1コマ解除について◆

プリント予約したコマの設定を解除(1コマ解除)するには、**1**〜**3**までの操作を行い①"◀▶"でプリント予約を解除したいコマを選び、②プリント枚数を0枚に設定します。続けて解除するには①②を繰り返します。
設定が終了したら、必ず"MENU/OK"ボタンを押してください。

F フォトモード ▶ 再生　予約全解除

1

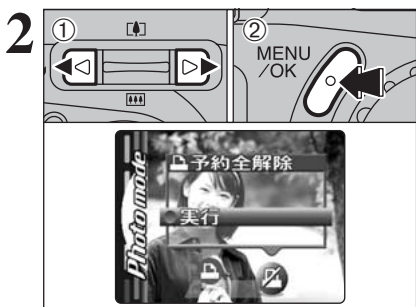
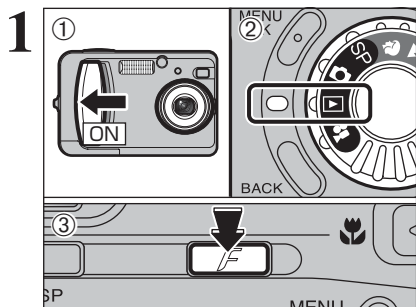
①電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
②モードダイヤルを "▶" に合わせます。
③"F" ボタンを押します。

2

①"◀▶" で "" 予約全解除を選びます。
②"MENU/OK" ボタンを押します。

3

実行を確認する画面が表示されます。
プリント予約をすべて解除するには "MENU/OK" ボタンを押します。

静止画撮影モード 撮影～設定手順

撮影シーンや仕上がりのイメージを考慮しながら設定を行います。
おおまかな流れは次のようになります。

1 撮影モードを選びましょう

A “アカルサ” “白バランス” をカメラに任せます。
M “アカルサ” “白バランス” を自分で設定できます。
SP シーンポジション（/▲//）を選べます。

2 必要に応じて撮影機能を設定しましょう

ストロボ		暗い場所での撮影、逆光時の撮影などで使用します。
マクロ		近距離撮影で使用します。
セルフタイマー		撮影者を含めた集合写真などに使用します。
アカルサ		AEの露出を基準（0）として、明るく（+）または暗く（－）撮影します。
WB 白バランス		撮影環境や照明光に合わせて、白バランスを固定するときに使用します。
連写		連続撮影できます。

3 撮影しましょう

■撮影モード機能一覧

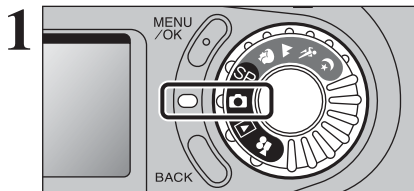
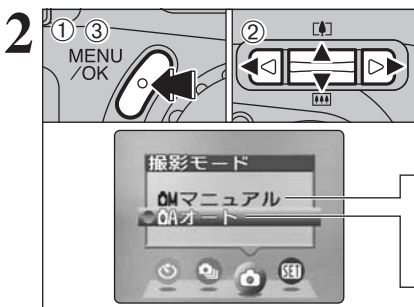
		工場出荷時	A	M	SP
▶	ストロボ（AUTO/////SLOW）	AUTO	○	○	○*2
◀	マクロ（ON/OFF）	OFF	○	○	×
FinePix Photo mode（ファインピックスフォトモード）	ピクセル	1M	○	○	○
	ISO感度	AUTO*1	○	○	○
	FinePixカラー	F-スタンダード	○	○	○
メニュー	セルフタイマー（ON/OFF）	OFF	○	○	○
	連写（OFF//）	OFF	○	○	○
	SPシーンポジション（/▲//）		×	×	○*2
	アカルサ（露出補正－2.1～+1.5）	0	×	○	×
	WB白バランス（AUTO/////）	AUTO	×	○	×

*1 Mモードの感度の工場出荷時設定は200です。
*2 “SP” メニューの設定（/▲//）により、使用できるストロボモードが制限されます（➡31ページ）。
*動画モードのピクセルの工場出荷時設定は320×240です。

Aオート，Mマニュアルの切り換え

1

モードダイヤルを"📷"に合わせます。

2

①"MENU/OK"ボタンを押して、メニューを表示します。
②"◀▶"で"📷"撮影モードを選び、"▲▼"で"Aオート"か"Mマニュアル"を選びます。
③"MENU/OK"ボタンを押して決定します。

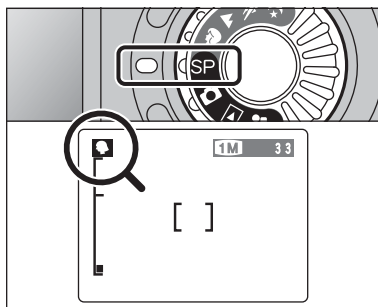
M マニュアル

"アカルサ（➡37ページ）・白バランス（➡37ページ）"を設定できるモードです。

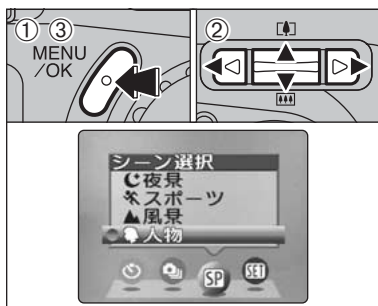
A オート

最も簡単に撮影できる撮影用途の広いモードです。

SP シーンポジション

1

撮影シーンに適した撮影モードです。
モードダイヤルを “SP” に合わせます。

マクロの設定はできません。

2

液晶モニターに表示された人物・▲・スポーツ・夜景の4種類からシーンを選べます。
①“MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。
② “◀▶” で “SP” シーンポジションを選び、“▲▼” で設定を変更します。
③“MENU/OK” ボタンを押して決定します。

! モードダイヤルで人物・▲・スポーツ・夜景は選べません。

	説　明	使用可能ストロボ
人物	人物撮影に適したモードです。 肌の色がきれいに見え、ソフトな感じに仕上がります。	AUTO・赤目軽減・強制発光・発光禁止・スローシンクロ
▲ 風景	昼間の風景撮影に適したモードです。 建物や山など風景をくっきりと仕上げます。	ストロボは使用できません。
スポーツ	動体撮影に適したモードです。 高速側のシャッター優先の撮影が行われます。	AUTO・強制発光・発光禁止
夜景	夕景や夜景の撮影に適したモードです。 最長約2秒のスローシャッター優先の撮影が行われます。 手ブレ防止のため必ず三脚をご使用ください。	スローシンクロ・赤目軽減スロー・発光禁止

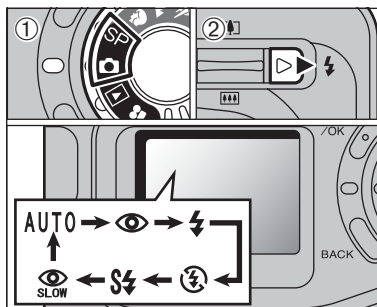
マクロ（近距離），ストロボ

マクロ（近距離）

マクロを設定すると近距離撮影ができます。
①モードダイヤルを“ ”に合わせます。
②“ ”マクロボタンを押します。液晶モニターに“ ”が表示され、近距離撮影ができます。
マクロを解除するには、もう一度“ ”マクロボタンを押します。

●撮影可能距離：約10cm〜約80cm
●ストロボ撮影可能距離：約30cm〜約80cm

- マクロ撮影は、次のとき自動的に解除されます。
  - モードダイヤルを切り換えたとき（以外）
  - “A”、“M”を切り換えたとき
  - 電源が切れたとき
- 撮影の状況に応じてストロボの設定をしてください。
- 暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします（“!”手ブレ警告が表示されているとき）。
- レンズが広角側に固定され、デジタルズームのみ可能になります。
- 液晶モニターが自動的にONになり、OFFにすることはできません。
- マクロを解除しても液晶モニターはONの状態のままです。

> マクロでファインダーを使うと、ファインダー窓とレンズの位置が違うため、実際に見える範囲と写る範囲にズレが生じます。そのため、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

ストロボ

撮影の目的に合わせて6種類のストロボの設定が選べます。
①モードダイヤルを“ ”または“SP”に合わせます。
②“ ”ストロボボタンを押すたびにストロボの設定が切り換わり、最後に表示したストロボの設定が選択されます。

●ストロボ撮影可能距離（Aオート時）
広角側：約0.3m〜約5.0m
望遠側：約0.3m〜約4.0m

- 雪のときやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボ光が雪やほこりに反射して画像に白点が写ることがあります。ストロボ発光禁止での撮影をお試しください。
- 電池の残量が少ない場合、ストロボ充電時間が長くなることがあります。
- ストロボ撮影をした場合、充電するために映像が消えて黒い画面になることがあります。このときファインダーランプが橙色に点滅します。
- “SP”メニューの設定（・・・）により、使用できるストロボモードが制限されます（➡31ページ）。
- “SLOW”は“A”・“M”では使用できません。

AUTO オートストロボ（表示なし）

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。

- ストロボ充電中にシャッターボタンを押すと、ストロボ発光せずに撮影されます。

赤目軽減ストロボ

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。撮影前にストロボがプレ発光し、次に撮影のためのストロボが発光します。
撮影状況に応じてストロボが自動的に発光します。

ストロボ充電中にシャッターボタンを押すと、ストロボ発光せずに撮影されます。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、ストロボの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減ストロボを積極的にご利用ください。赤目軽減ストロボを使用するとともに、
●撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう　●なるべく近づいて撮影する
などするとより効果的です。

強制発光ストロボ

窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。
明るいところでもストロボ撮影が行われます。

ストロボ発光禁止

室内照明を利用しての撮影、ガラス越しの撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。
この場合、設定した白バランス（➡37ページ）が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ撮影できます。

暗い場所でストロボ発光禁止で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
手ブレ警告については、62ページをご参照ください。

S スローシンクロ

スローシャッターでストロボ発光します。夜景と人物をきれいに撮影できます。手ブレ防止のため必ず三脚をご使用ください。

●最長シャッタースピード
（SP夜景）：2秒まで　以外：1/4秒まで

赤目軽減+スローシンクロ

赤目軽減のスローシンクロ撮影です。

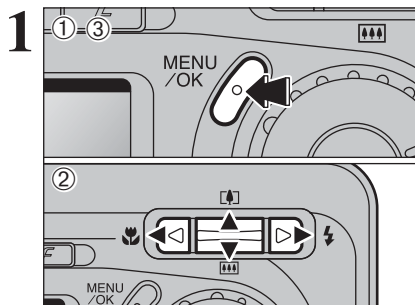
明るい撮影シーンでは露出オーバーになることがあります。

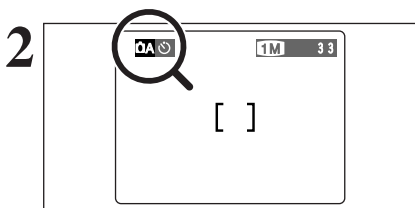
背景の夜景をより明るく撮りたい場合は、“SP” モードの“” （夜景）の使用をおすすめします（➡31ページ）。

撮影メニュー

※A/Mの切り換え(➡30ページ)

撮影メニューの操作

1

①“MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。
②“◀▶” でメニューを選びます。“▲▼” で設定を変更します。
③“MENU/OK” ボタンを押して決定します。

2

設定を有効にすると液晶モニターにアイコンが表示されます。

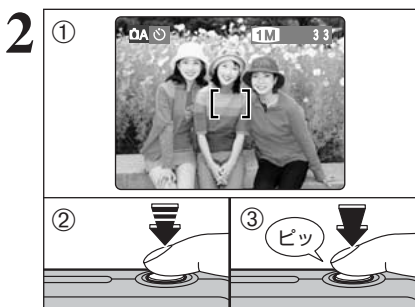
撮影モードにより設定可能な撮影メニューは変わります。

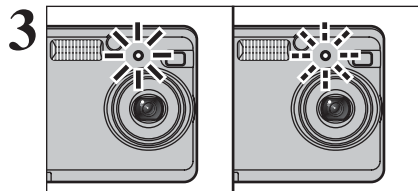
セルフタイマー

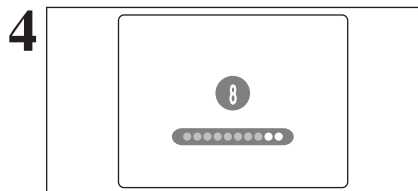
1

“” または “SP” で設定できます。
撮影者を含めた集合写真などに使用します。
セルフタイマーをONにすると、液晶モニターに “” が表示されます。
約10秒間のセルフタイマー撮影です。

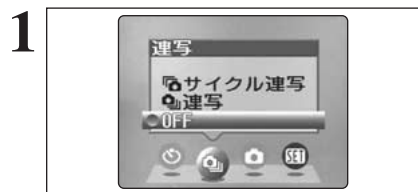
セルフタイマーは、次のときに自動的に解除されます。
- 撮影が完了したとき
- “A”、“M” を切り換えたとき
- モードダイヤルを切り換えたとき
- 電源が切れたとき

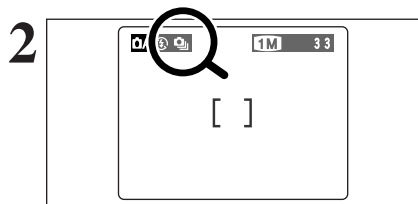
2

①AFフレームを被写体に合わせます。
②シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。
③半押しのまま、さらにシャッターボタンを押し込むと(全押し)、セルフタイマーが開始されます。

AF/AEロック撮影も可能です(➡17ページ)。
レンズの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケになったり、適正な明るさ(露出)にならないことがあります。

3 セルフタイマーランプが約5秒間点灯したのち点滅に変わり、さらに約5秒後に撮影されます。

開始したセルフタイマー撮影は、“BACK” ボタンを押すと解除できます。

4 撮影されるまでの間、液晶モニターにカウントダウン(秒読み)表示されます。
セルフタイマーは撮影ごとに自動的に解除されます。

連写

1

“A” の撮影モードで設定できます。
使用する連写モードを選びます。

2

連写モードを設定(OFF以外)すると液晶モニターに選んだモードが表示されます。

- ：連写
- ：サイクル連写

◆連写モードの注意◆

- 撮影中は液晶モニターに“撮影中”と表示されます。
- ファインダー撮影をおすすめします。
- 撮影画像確認(➡47ページ)をOFFにしても撮影結果が表示されます。
- シャッターボタンを押し続けている間撮影されます。
- xD-ピクチャーカード の容量が不足すると、記録可能な枚数分撮影されます。
- ピント、露出は1コマ目を撮影したときに決定され、途中で変えられません。
- 連写速度はピクセル設定によって変わることはありません。
- ストロボは発光禁止になり使用できません。

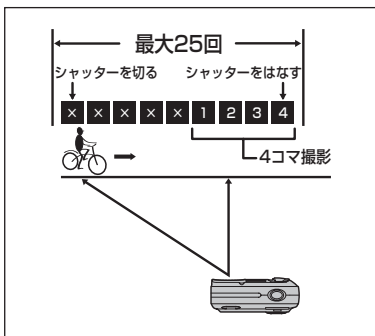
応用編

次ページにつづく

連写

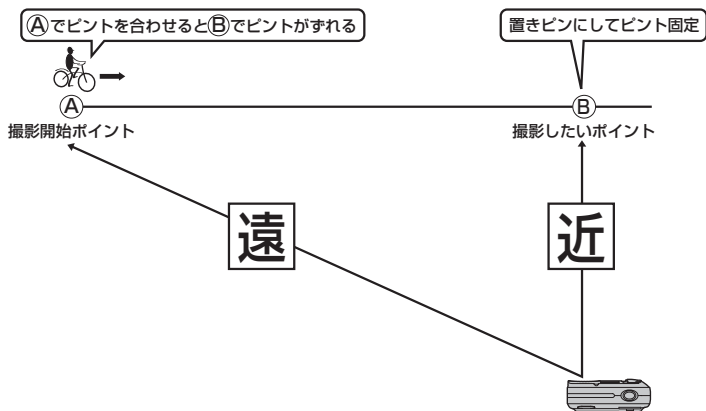
最短約0.3秒間隔で最大4コマ連写できます。撮影すると撮影結果が表示され自動的に保存されます。

ファイル記録時間は、"1M"の画像で約10秒です(4コマ連写した場合)。

サイクル連写

シャッターを切ると連写(最短約0.3秒間隔)が開始され、シャッターボタンから指をはなした直前の4コマが撮影されます。最大25回シャッターは切られ25回に達した場合は、最後の4コマが撮影されます。

xD-ピクチャーカード の容量が不足しているときは、シャッターボタンから指をはなした直前の、記録可能な枚数分撮影されます。

◆移動している被写体にピントを合わせるには◆

撮影開始ポイントⒶでシャッターボタンを半押ししてピントを合わせると、撮影したいポイントⒷで距離が変わり、ピントの合っていない画像になることがあります。
そのときは、AFロックを使用して、あらかじめ撮影したいポイントⒷにピントを合わせ、ピントがずれないように固定して撮影します(置きピン)。
また置きピンは、動きが速くピントを合わせにくい被写体の撮影でも有効です。

アカルサ（露出補正）

"M"の撮影モードで設定できます。
被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに使用します。

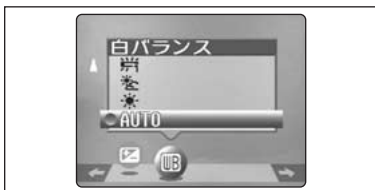
●補正範囲：－2.1EV～＋1.5EV
（13段階：約0.3EVステップ）
EVについては68ページをご参照ください。

次のような状態では、無効になります。
- オートまたは赤目軽減でストロボが発光したとき
- 強制発光で撮影シーンが暗いとき

◆次のような被写体のとき効果があります◆

＋（プラス）補正の目安
- 白っぽい紙に黒い文字の印刷物の複写：＋1.5EV
- 逆光の人物撮影：＋0.6EV～＋1.5EV
- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合：＋0.9EV
- 液晶モニター内を空の部分が大きく占める場合：＋0.9EV

－（マイナス）補正の目安
- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合：－0.6EV
- 黒っぽい紙に白い文字の印刷物の複写：－0.6EV
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：－0.6EV

白バランス（光源選択）

"M"の撮影モードで設定できます。
撮影時の環境・照明光に合わせ、白バランスを固定して撮影を行いたい場合に設定を変更します。AUTO時は、人物の顔アップなどの被写体や特殊な光源下では、正しい白バランスにならない場合があります。その場合は光源に合わせた白バランスを選択してください。白バランスについては68ページをご参照ください。

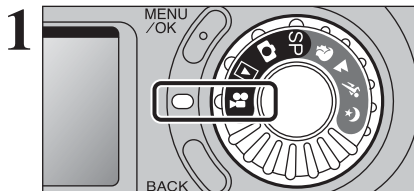
撮影環境（光源など）によって多少色味が変わる場合があります。

AUTO：自動調整（光源の雰囲気を残した撮影）
☀：晴れた屋外での撮影
日陰：日陰での撮影
蛍光灯1：昼光色蛍光灯下での撮影
蛍光灯2：昼白色蛍光灯下での撮影
蛍光灯3：白色蛍光灯下での撮影
電球：電球、白熱灯下での撮影

＊ストロボ発光時の、白バランスはストロボ用の設定になりますので、意図した撮影の場合ストロボを発光禁止（➡33ページ）にしてください。

応用編

動画撮影モード 動画を撮影してみましょう(動画撮影)

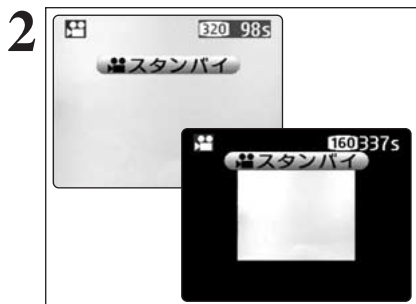
1

モードダイヤルを“”に合わせます。
1回で撮影できる動画は最長120秒(320設定時)/480秒(160設定時)です。

- 撮影形式:Motion JPEG 形式　音声なし
- ピクセルサイズ切り換え式
  320(320×240ピクセル)
  160(160×120ピクセル)
- フレームレート　10フレーム/秒

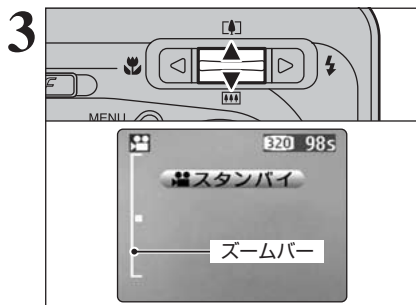
フレームレートについては68ページをご参照ください。

- ピクセル(画像サイズ)設定の変更(➡23ページ)。
- xD-ピクチャーカード の空き容量によっては、一回の撮影時間が短くなることがあります。
- xD-ピクチャーカード で撮影できる標準時間は66ページを参照してください。
- 液晶モニターをOFFにすることはできません。

本機以外のカメラでは動画ファイルは再生できない場合があります。

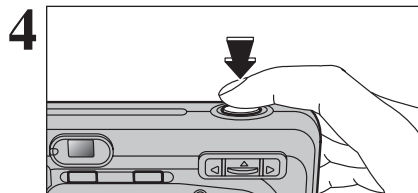
2

液晶モニターに撮影可能時間と“スタンバイ”が表示されます。

- ピクセル設定が160のときは、ひと回り小さく表示されますが、撮影範囲は変わりません。

3

動画撮影ではレンズが広角側に固定され、デジタルズームのみになります。“▲()”“▼()”でズームできます。液晶モニターに“ズームバー”が表示されます。

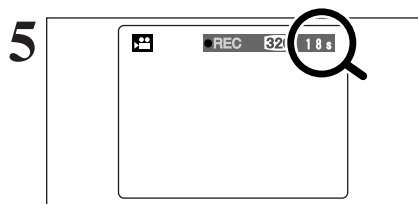
- デジタルズーム焦点距離(35mmカメラ換算)
  約38mm〜約110mm相当
  最大ズーム倍率 2.9倍
- 撮影可能距離
  約1m〜無限遠

- デジタルズーム撮影では画像が若干劣化します。シーンに応じて使い分けてください。

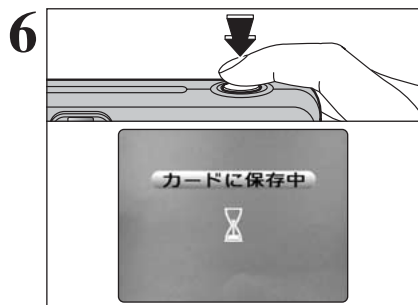
4

シャッターボタンを全押しすると、撮影が開始されます。

- ピントは約1m〜無限遠の固定になります。
- 撮影前の液晶モニターと動画記録中の液晶モニターは明るさや色などが異なる場合があります。
- シャッターボタンを押し続ける必要はありません。

シャッターボタンを全押しすると、ピントは固定されますが、露出はシーンに応じて自動的に変化します。

5

撮影中は液晶モニターに“●REC”が表示され、右上に残り時間をカウントダウン表示します。

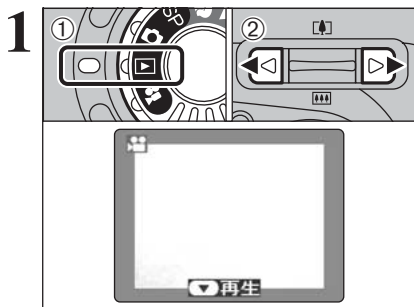
- 残り時間がなくなると自動的に撮影が終了し、xD-ピクチャーカード に記録されます。

6

撮影中にもう一度シャッターボタンを押すと撮影を終了し、 xD-ピクチャーカード へ記録します。

- 撮影開始後すぐに終了しても、約1秒間だけ xD-ピクチャーカード へ記録されます。

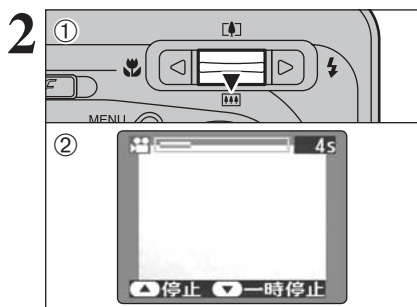
応用編

動画を見るには（▶ 動画再生）

1

①モードダイヤルを“▶”に合わせます。
②“◀▶”で動画ファイルを選びます。

! マルチ再生では動画再生はできません。“DISP”ボタンで1コマ再生にしてください。

“🎥”のアイコンで表示されます。

2

①“▼”を押すと再生されます。
②液晶モニターに再生時間とバーが表示されます。

! 高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に縦に白いスジが入ることがありますが故障ではありません。

静止画に比べ、ひと回り小さく表示されます。

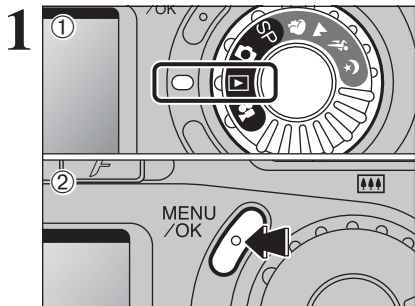
■動画再生操作方法

	操　作	説　明
再生		再生を開始します。 再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除		再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止		再生を停止します。 ※停止中に“◀▶”を押すと次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し		再生中に操作すると早送り/巻き戻しします。
コマ送り	一時停止中	一時停止中に“◀”または“▶”を押すたびに1コマずつ送られます。 押し続けると速く送られます。

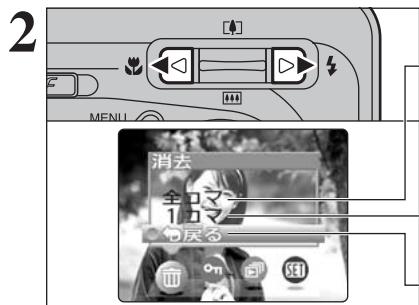
◆動画ファイルの再生について◆

- 本機以外で記録した動画ファイルは再生できない場合があります。
- パソコンで再生する場合、 xD-ピクチャーカード 内の動画ファイルをパソコンのハードディスクに保存して、そのファイルを再生してください。

🗑 消去　1コマ，全コマ消去

1

①モードダイヤルを “▶” に合わせます。
②“MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。

誤ってコマ（ファイル）を消去すると、元に戻せません。ご注意ください。消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

2

“◀▶” で “🗑” 消去を選びます。

全コマ

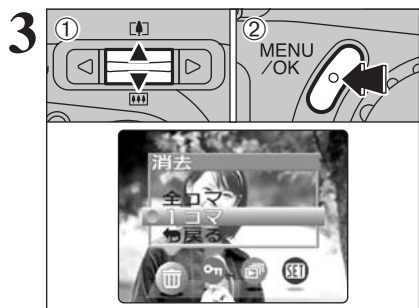
プロテクトされていないすべてのコマ（ファイル）を消去します。消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

1コマ

選んだコマ（ファイル）だけを消去します。

戻る

消去せずに再生に戻ります。

3

①“▲▼” で “1コマ” か “全コマ” を選びます。
②“MENU/OK” ボタンを押します。

応用編

次ページにつづく

🗑 消去　1コマ，全コマ消去

1コマ

①“◀▶”で消去するファイルを選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のファイルを消去します。
続けて消去するには①②を繰り返します。
消去を終えるには“BACK”ボタンを押します。

❗“MENU/OK”を繰り返し押すと連続して消去されます。誤って消去しないよう注意してください。
❗プロテクトされたコマは消去できません。プロテクトを解除してから消去してください(➡43ページ)。

全コマ

“MENU/OK”ボタンを押すとすべてのファイルを消去します。

❗全コマ消去中に“BACK”ボタンを押すと処理を中止できます。
❗プロテクトされたコマは消去できません。プロテクトを解除してから消去してください(➡43ページ)。

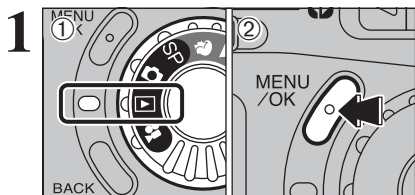
“(予約があります)”が表示された場合、ファイルを消去するには“MENU/OK”ボタンをもう一度押します。

◆操作を途中でやめたいときは◆

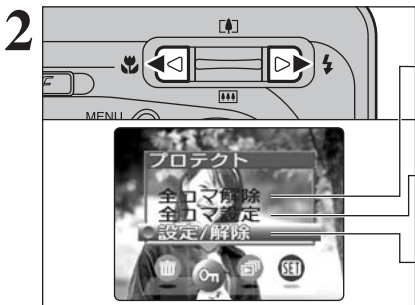
全コマ消去を中止したいときは、“BACK”ボタンを押してください。プロテクトされていないファイルの中で、いくつかのファイルが消去されずに残ります。

❗すぐに中止した場合でも、いくつかのファイルは消去されます。

O┳ プロテクト　設定/解除，全コマ設定，全コマ解除

1

①モードダイヤルを “▶” に合わせます。
②“MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。

プロテクトとは、コマ（ファイル）を誤って消去しないように設定することです。ただし “フォーマット” するとすべてのコマ（ファイル）が消去されます（➡49ページ）。

2

“◀▶” で “O┳” プロテクトを選びます。

全コマ解除

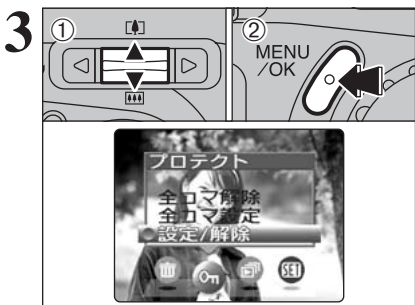
すべてのコマ（ファイル）のプロテクトを解除します。

全コマ設定

すべてのコマ（ファイル）をプロテクトします。

設定/解除

選んだコマ（ファイル）だけをプロテクトしたり、解除したりします。

3

①“▲▼” で “設定/解除”、“全コマ設定” か “全コマ解除” を選びます。
②“MENU/OK” ボタンを押します。

4

設定

①“◀▶” でプロテクトするファイルを選びます。
②“MENU/OK” ボタンを押すと表示中のファイルをプロテクトします。
続けてプロテクトするには①②を繰り返します。
プロテクトを終えるには “BACK” ボタンを押します。

応用編

次ページにつづく

再生メニュー プロテクト 設定/解除，全コマ設定，全コマ解除

解除

①"◀▶" でプロテクトしたファイルを選びます。
②"MENU/OK" ボタンを押すと表示中のファイルのプロテクトを解除します。

全コマ設定

"MENU/OK" ボタンを押すとすべてのファイルをプロテクトします。

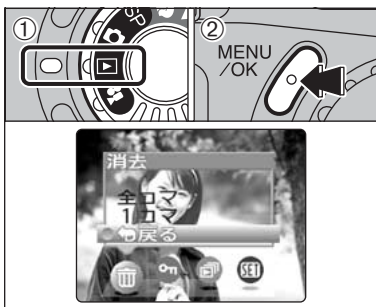
全コマ解除

"MENU/OK" ボタンを押すとすべてのファイルのプロテクトを解除します。

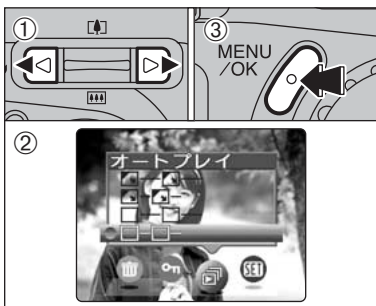
◆操作を途中でやめたいときは◆

撮影した画像が大量にあると、全コマ設定・全コマ解除の設定に時間がかかる場合があります。
操作の途中で静止画や動画の撮影をしたい場合は "BACK" ボタンを押してください。その後、全コマ設定・全コマ解除をし直す場合は、43ページの **1** から操作し直してください。

▶ 再生メニュー 🖭 オートプレイ（自動再生）

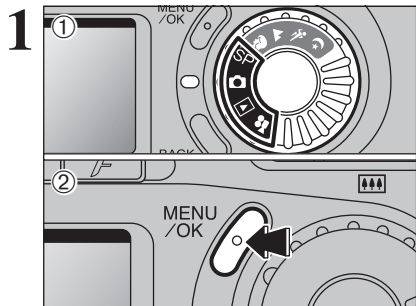
1

①モードダイヤルを “▶” に合わせます。
②“MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。

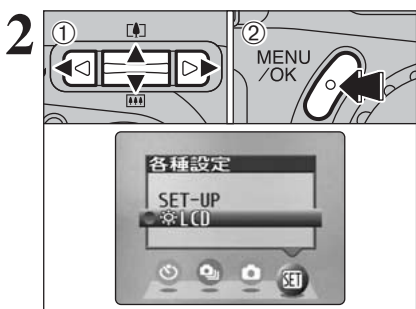
❗オートプレイ中はパワーセーブしません。
❗動画は自動的に再生が始まります。再生が終わると次のコマに進みます。

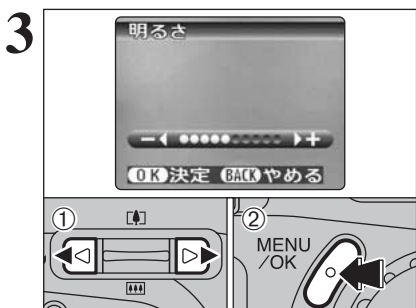
2

①“◀▶” で “🖭” オートプレイを選びます。
②“▲▼” を押して自動再生の間隔と画像の切り換えかたを選びます。
③“MENU/OK” ボタンを押します。画像が自動的にコマ送りされて再生されます。

❗“DISP” ボタンを1回押すと、液晶モニターに再生コマNO.が表示されます。
❗途中でやめる場合は、“BACK”ボタンを押してください。

☀LCD（液晶モニターの明るさ）調節

1

①モードダイヤルを“📷・SP・▶・🎥”のいずれかに合わせます。
②“MENU/OK”ボタンを押して、メニューを表示します。

2

①“◀▶”で“SET”各種設定を選び、“▲▼”で“☀LCD”を選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押します。

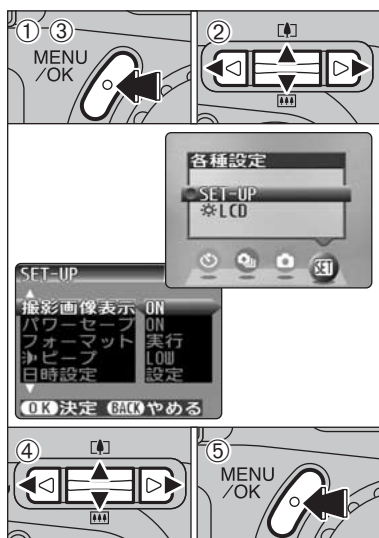
3

①“◀▶”で液晶モニターの明るさを調節します。
②“MENU/OK”ボタンを押して設定します。

❗設定を変更しない場合は“BACK”ボタンを押します。

SET-UP（セットアップ）

■SET-UPメニュー一覧

項　目	表　示	工場出荷時	内　　容
撮影画像表示	ON/OFF	ON	撮影後に画像確認画面（撮影結果）を表示するかどうか設定できます。撮影結果がしばらく表示され、自動的に記録されます。
パワーセーブ	ON/OFF	ON	30秒間操作していないときに、消費電力を抑えるために液晶モニターを消すかどうか設定できます。詳しくは48ページ参照。
フォーマット	実行	―	すべてのファイルを消去します。詳しくは49ページ参照。
ビープ	LOW/HIGH/OFF	LOW	操作したときの音量を設定できます。
日時設定	設定	―	日付、時刻を修正できます。詳しくは11ページ参照。
LCD	ON／OFF	ON	モードダイヤルを“”にしたときに、自動的に液晶モニターをON にするかOFF にするか設定できます。
コマNO.	連番／新規	連番	コマNO.を連番にするか新規にするかを設定します。詳しくは49ページ参照。
USB 設定	⇆／ PC	⇆	パソコンに接続したときの機能を切り換えます。詳しくは51ページ参照。
言語/LANG.	日本語/ENGLISH/FRANCAIS/DEUTSCH/ESPAÑOL/中文	日本語	液晶モニターに表示する言語を設定できます。
ビデオ出力	NTSC/PAL	NTSC	ビデオ出力をNTSCにするかPALにするかを設定します。日本国内で使用する場合はNTSCを選択してください。
充電池放電	実行	―	充電池を放電します。詳しくは60ページ参照。
リセット	実行	―	日時設定、言語/LANG.、ビデオ出力以外のすべての設定を工場出荷時設定にリセットします。“▶”を押すと確認画面が表示されるので、リセットするには“MENU/OK”ボタンを押します。

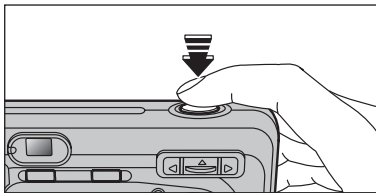
SET セットアップ画面の操作

①“MENU/OK”ボタンを押して、メニューを表示します。
②“◀▶”で“SET”各種設定を選び、“▲▼”で“SET-UP”を選びます。
③“MENU/OK”ボタンを押して、SET-UP画面を表示します。
④“▲▼”で項目を選び、“◀▶”で設定を変更します。“フォーマット”“日時設定”“リセット”は“▶”を押します。
⑤変更後“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

電池を交換するときは、必ず電源を切ってください。電源を切らずに電池カバーを開けたりACパワーアダプターを抜くと、各種設定が工場出荷時設定に戻ることがあります。

各種設定編

パワーセーブ

できるだけ消費電力を少なくし、電池の消耗を抑えます。アルカリ乾電池で使用するときはONにすることをおすすめします。

! オートプレイ、充電池放電、USB接続時ではパワーセーブは無効になります。

●パワーセーブ “ON”

①約30秒間操作しないと一時的に液晶モニターを消し、消費電力を抑えます（ファインダーランプ[緑]が1秒おきに点滅）。
このときに、シャッターボタンを半押しにすると、撮影可能な状態に戻ります。

②液晶モニターが消えた後、約90秒間操作しないと自動的に電源が切れます（ファインダーランプが消灯）。

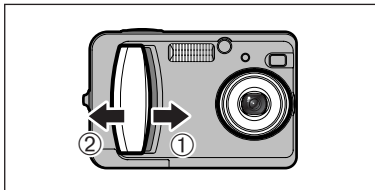
! ストロボの充電電力を抑えるため充電時間が多少長くなります。

! シャッターボタンを半押しして離した場合、ストロボ充電のために画面が一瞬暗くなることがあります。

再生モード、セットアップ、液晶モニターOFFでは操作をしないと、約2分間で自動的に電源が切れます。ただし、操作しないで約30秒間たっても液晶モニターは消えません。

●パワーセーブ “OFF”

スリープなどの電力を抑えることを行いませんので電池が消耗しやすくなります。ただし、約2分間操作しないと自動的に電源が切れます。

◆カメラの電源が切れたときは◆

再度電源を入れるには、いったん電源スイッチを①切ってから、②再び電源を入れると使用できるようになります。

フォーマット

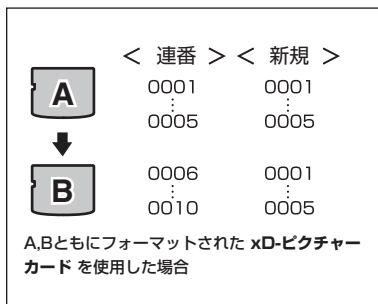
すべてのコマ（ファイル）を消去します。
xD-ピクチャーカード をカメラ用に初期化します。
消去したくない重要なファイルは、パソコンなどにコピーしてください。

①“◀▶”で“はい”を選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押すとすべてのファイルが消去され、xD-ピクチャーカード が初期化されます。

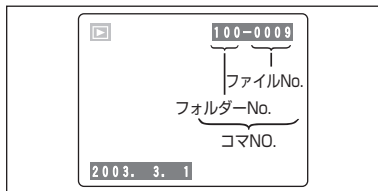
プロテクトされているファイルも消去されます。

! フォーマットする前に“カードエラー”“記録できませんでした”“再生できません”“フォーマットされていません”が表示された場合は、62ページを参照し対処してください。

コマNO.

A,Bともにフォーマットされた **xD-ピクチャーカード** を使用した場合

連番：最後に使用した xD-ピクチャーカード の「最終ファイルNo.」から続けて撮影
新規： xD-ピクチャーカード ごとに「ファイルNo. 0001」から撮影

“連番”は、パソコンなどに画像を取り込んだときにファイル名が重複しないので、ファイルの管理に便利です。

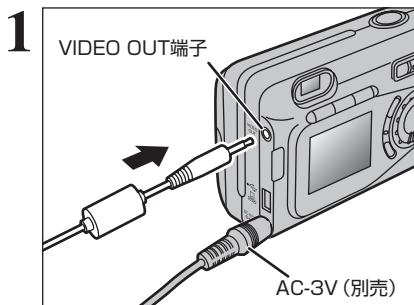
! 記憶した「最終ファイルNo.」より、大きいファイルNo.の画像が xD-ピクチャーカード にあった場合、大きいファイルNo.の続きから撮影されます。

画像を再生するとファイルNo.を確認できます。液晶モニターの右上の7けたの数字のうち下4けたがファイルNo.で、上3けたはフォルダーNo.です。

! xD-ピクチャーカード を交換するときは、必ず電源を切ってから電池カバーを開けてください。電源を切らずに電池カバーを開けると、コマNO.の連番が機能しないことがあります。
! ファイルNo.は0001から9999までで、それを超えるとフォルダーNo.が1つ繰り上がります。
最大で999−9999までカウントされます。
! 他のカメラで撮影した画像は、コマNO.表示が異なる場合があります。
! “コマNO.の上限です”が表示されたときは62ページを参照してください。

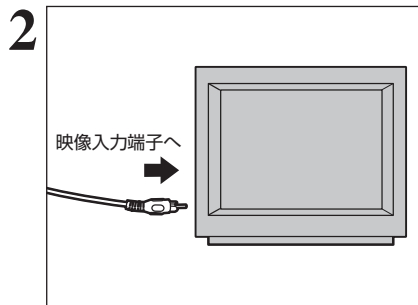
各種設定編

テレビに接続する，ACパワーアダプターを使う（別売）

テレビに接続する

1

カメラとテレビの電源を切ります。カメラの“VIDEO OUT”（映像出力）端子に専用ビデオケーブル（付属品）のプラグを接続します。

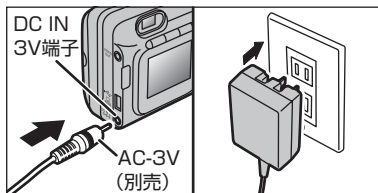
- VIDEO OUT端子に専用ビデオケーブルのプラグを接続すると液晶モニターの表示は消えます。
- コンセントが近くにある場合は、ACパワーアダプターAC-3Vを接続することをおすすめします。

2

テレビの映像入力端子にピンプラグを接続し、カメラとテレビの電源を入れて通常どおり撮影、再生を行ってください。

- テレビの映像入力については、テレビの説明書をご参照ください。

ACパワーアダプターを使う（別売）

必ず、弊社製「ACパワーアダプター AC-3V」またはクレードルCP-FXA10に付属している「ACパワーアダプター AC-3VW」をお使いください（➡57ページ）。
パソコンへ撮影した画像などを転送するなど、電源が切れては困るときに使用します。また、電池の消耗を気にせず撮影・再生することができます。

- 別売のクレードルを使用する場合は、クレードル付属のACパワーアダプターを必ずご使用ください。付属品以外のACパワーアダプターを使用すると故障の原因となります。
- ACパワーアダプターの接続および取り外しは、カメラの電源が切れているときに行ってください。
  カメラの電源が一時的に切れるため、撮影中の画像、動画は記録されません。また、 xD-ピクチャーカード の破損やパソコン接続時誤動作の原因になります。

カメラの電源が切れていることを確認します。ACパワーアダプターの接続プラグを“DC IN 3V”端子に奥まで差し込み、次に電源コンセントに差し込みます。

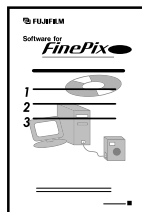
- 弊社専用品以外をご使用になった場合の不具合は保証いたしかねます。
- ACパワーアダプターについてのご注意は58ページをご参照ください。

ACパワーアダプターを接続しても、単3形ニッケル水素電池の充電はできません。単3形ニッケル水素電池の充電には別売の充電器（➡57ページ）が必要です。

パソコンと接続する

USB接続で利用できる機能の概要と接続方法を説明します。

カメラをパソコンに初めて接続する際は、接続する前に同梱のCD-ROMを使って、パソコンにソフトウェアをすべてインストールする必要があります。インストールする前にカメラをパソコンに接続すると正常に接続できなくなる場合があります。
別冊のソフトウェア取扱ガイドをご覧になって、正しくソフトウェアをインストールしてください。

CD-ROM
「Software for FinePix SX」　ソフトウェア取扱ガイド

カードリーダー機能について

xD-ピクチャーカード から簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェース接続により、高速にファイル転送が行えます（➡52ページ）。

PCカメラ機能について

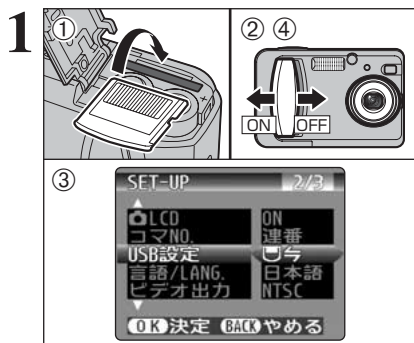
インターネット接続されたパソコン同士でテレビ電話（“PictureHello”）が楽しめます。

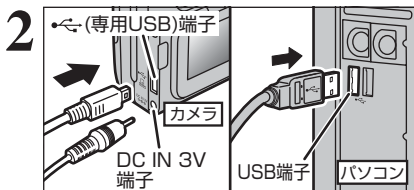
- **テレビ電話（“PictureHello”）はMacintoshに対応していません。**
- Mac OS X（Classic環境を含む）では、PCカメラ機能を利用できません。

接続編

次ページにつづく

カードリーダー接続方法

1

①撮影した xD-ピクチャーカード をカメラにセットします。
②電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
③SET-UPの "USB設定" を "⇋" にします (➡47ページ)。
④電源スイッチをスライドさせ、電源を切ります。

ACパワーアダプターAC-3V（別売）またはクレードル（別売）に付属しているACパワーアダプターAC-3VWを使った接続をおすすめします（➡50ページ）。通信中に電源が切れると、 xD-ピクチャーカード 内のファイルを破壊する可能性があります。

2

①パソコンの電源を入れます。
②FinePix A310専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。
③カメラの電源を入れます。

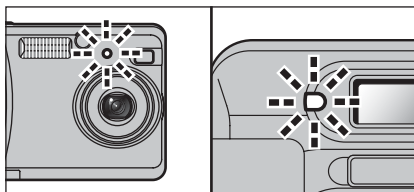
通信中はUSBケーブルを取り外さないでください。通信中に電源が切れると、 xD-ピクチャーカード 内のファイルを破壊する可能性があります。取り外しかたについては、54ページをご参照ください。

Windows XPおよびMac OS Xでは、初回接続時に自動起動の設定が必要です（➡別冊のソフトウェア取扱ガイド）。

FinePix A310専用USBケーブルは向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

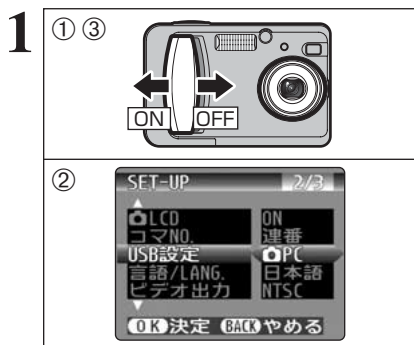
カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください（➡54ページ）。

Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
＊パソコンがカメラを認識しない場合は、ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

カメラの動作

- カメラとパソコンが通信中のときは、セルフタイマーランプが点滅し、ファインダーランプが緑/橙に交互点滅します。
- 液晶モニターには "⇋ カードリーダー" と表示されます。
- USB接続時はパワーセーブしません。

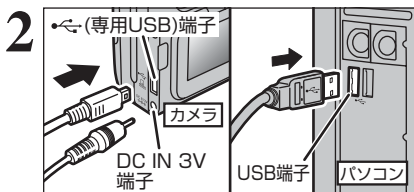
xD-ピクチャーカード の交換は、必ず54ページの手順でカメラとパソコンの接続を切ったあとに行ってください。

PCカメラ接続方法

1

①電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
②SET-UPの“USB設定”を“PC”にします（➡47ページ）。
③電源スイッチをスライドさせ、電源を切ります。

ACパワーアダプターAC-3V（別売）またはクレードル（別売）に付属しているACパワーアダプターAC-3VWを使った接続をおすすめします（➡50ページ）。

2

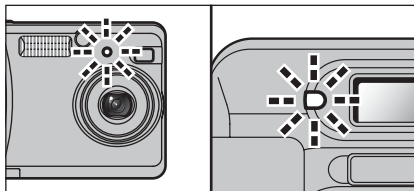
(専用USB)端子
カメラ
DC IN 3V 端子
USB端子
パソコン

①パソコンの電源を入れます。
②FinePix A310専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。
③カメラの電源を入れます。

通信中はUSBケーブルを取り外さないでください。取り外しかたについては、54ページをご参照ください。

FinePix A310専用USBケーブルは向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

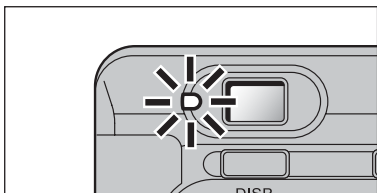
カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください（➡54ページ）。

Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
＊パソコンがカメラを認識しない場合は、ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

カメラの動作

- カメラとパソコンが通信中のときは、セルフタイマーランプが点滅し、ファインダーランプが緑/橙に交互点滅します。
- レンズが広角側に固定されます。
- 液晶モニターには“PCカメラ”と表示されます。
- USB接続時はパワーセーブしません。

USB設定をPCカメラにして電源を入れると、液晶モニターやテレビの画面の色味が変わることがあります。

パソコンと接続を切るには（必ず行ってください）

1

①カメラを利用しているアプリケーション（FinePixViewerなど）をすべて終了します。
②ファインダーランプが緑色に点灯していること（パソコンと通信していないこと）を確認します。

カードリーダー接続の場合は、**2** に進みます。PCカメラ接続の場合は、**3** に進みます。

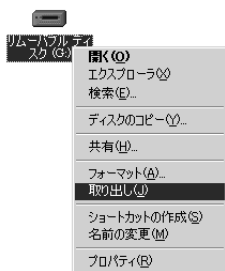
パソコンで“コピー中”の表示が消えても、カメラと通信中の場合があります。必ずカメラのファインダーランプが緑色に点灯していることを確認してください。

2 カメラの電源を切る前の作業を行います。この手順は、ご使用のOS（パソコン）によって違います。

Windows 98/98 SE

パソコンでの操作は必要ありません。

Windows Me/2000 Professional/XP

①マイコンピュータの中の“リムーバブルディスク”アイコンを右クリックし、取り出しをクリックします。この操作はWindows Meのみ必要です。

②タスクバー上の取り外しアイコンを左クリックします。

＊Windows Meの画面です。

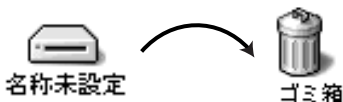
③下図のメニューが表示されますので、メニュー上をクリックします。

USB ディスク - ドライブ (G:) の停止

＊Windows Meの画面です。

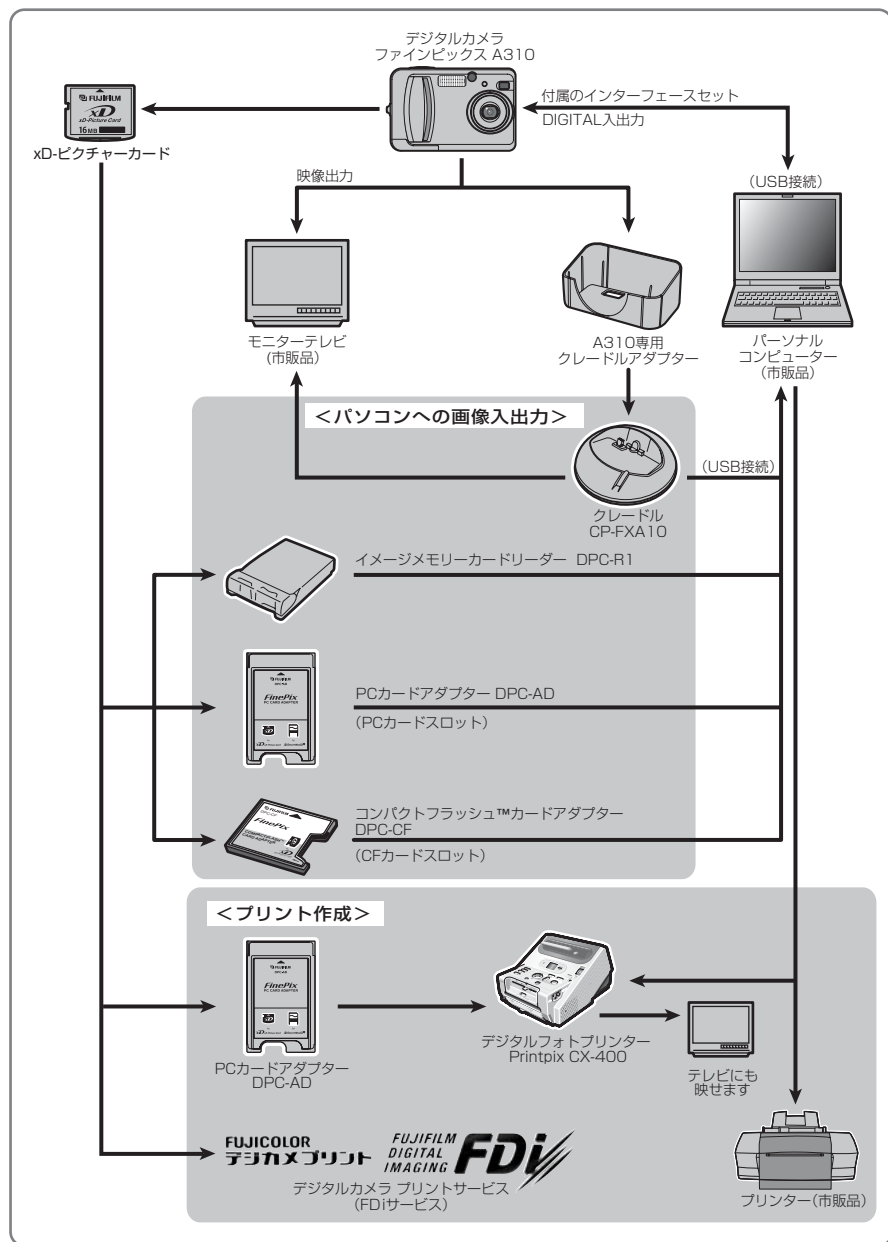
④“ハードウェアの取り外し”ダイアログが表示されますので、[OK]ボタンかクローズボタンをクリックしてください。

Macintosh

デスクトップの“リムーバブルドライブ”アイコンを、ゴミ箱にドラッグ&ドロップします。

ゴミ箱にドラッグ＆ドロップすると、カメラの液晶モニターに“取り外しOK”と表示されます。

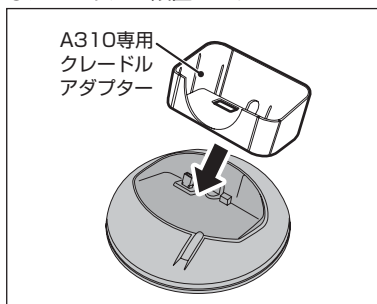
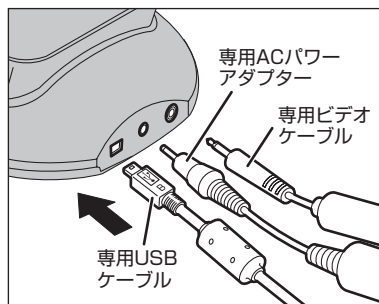
3 カメラの電源を切り、専用USBケーブルを取り外します。

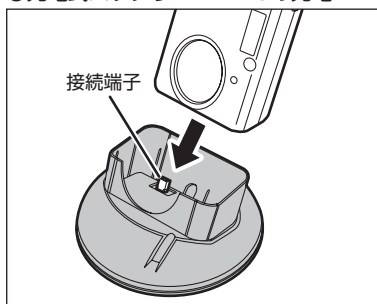
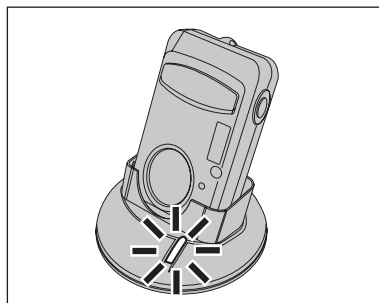
システムアップ機器（別売）（平成15年4月現在）

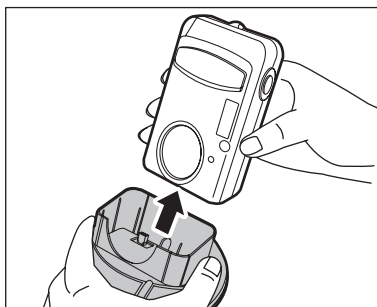
▶別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。

＊デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様にプリント取り扱い店でプリントできます。

◆別売クレードルの紹介◆

クレードルについての詳しい説明や使いかたについては、クレードルに付属している使用説明書をご覧ください。

●クレードルを設置します

クレードルにA310専用クレードルアダプターをセットします。

クレードルに専用ACパワーアダプター、専用ビデオケーブル、専用USBケーブルを接続します。

●充電式バッテリー NH-10の充電

充電式バッテリー NH-10を入れたカメラをクレードルにセットします。

カメラをクレードルにセットすると充電を開始します。

●カメラをクレードルから取り外すには

クレードルを押さえながら取り外してください。

その他 別売アクセサリーの紹介（平成15年4月現在）

▶使いかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

※最新情報は富士フイルムホームページをご覧ください。
http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/
※価格はメーカー希望小売価格、消費税別です。

●イメージメモリーカード（ xD-ピクチャーカード ）
以下の種類がお使いいただけます。
- DPC-16（16MB）
- DPC-32（32MB）
- DPC-256（256MB）
- DPC-64（64MB）
- DPC-128（128MB）

※すべてオープン価格

●ACパワーアダプター AC-3V
長時間の撮影・再生時、パソコンとの接続時にお使いください。
AC-3Vをクレードルに接続して充電しないでください。

※4,000円

●充電式 ニッケル水素電池2100（HR-AA）
高容量の単3形ニッケル水素電池です。
2本パック「型名 HR-AA 2B D」をお買い求めください。
充電式ニッケル水素電池2100は、充電式ニッケル水素電池1700を使用した場合に比べて、撮影枚数が約2割増えます。

※2本パック HR-AA 2B D　1,100円

●ニッケル水素／ニカド急速充電器デジチャージ（FNW）
単3形ニッケル水素電池「ニッケル水素2100」2本を約105分で充電できます。同時に4本までのニッケル水素/ニカド電池の充電が可能です。
海外でも使用可能な電圧(AC100V～240V)、周波数(50/60Hz)対応です（各国のプラグに対応した変換プラグは別途用意してください）。

※4,500円

●PictureCradle CP-FXA10
ACパワーアダプターやUSBケーブルを接続しておくと、カメラをのせるだけで充電やパソコン接続が手軽にできます。
充電式バッテリーNH-10とACパワーアダプター AC-3VWが付属しています。
クレードルで、充電を行うときには付属のAC-3VWをご使用ください。

※10,000円

●充電式バッテリー NH-10
ニッケル水素電池を使用したバッテリーです。デジタルカメラFinePix A310とクレードルCP-FXA10、ACパワーアダプターAC-3VWを使用して充電ができます。
クレードルをご購入後に、予備バッテリーが必要な場合にお求めください（NH-10単体での充電はできません）。

※2,000円

●ソフトケース SC-FXA01
ポリエステル製の専用ケースです。カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します。

※2,000円

●イメージメモリーカードリーダー DPC-R1
イメージメモリーカード（ xD-ピクチャーカード 、スマートメディア）からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェースにより高速なファイル転送を行います。
- Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- iMac、iBookおよびUSBインターフェースを標準装備するPower Macintosh（Mac OS 8.6～9.2/X（10.1.2～10.1.5））

※オープン価格

●PCカードアダプター DPC-AD
xD-ピクチャーカード あるいはスマートメディアをPC Card Standard ATA（PCMCIA2.1）に準拠したPCカード（TYPE Ⅱ）として使えます。2種類のメディアのうちどちらか一方を使用できます。
- Windows 95/98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- Mac OS 8.6～9.2/X（10.1.2～10.1.5）

※オープン価格

●コンパクトフラッシュ™カードアダプター DPC-CF
xD-ピクチャーカード を挿入するとコンパクトフラッシュ™カード（TYPE Ⅰ）として使用できます。
- Windows 95/98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- Mac OS 8.6～9.2/X（10.1.2～10.1.5）

※オープン価格

パソコンで動画再生をするには、QuickTime3.0以降のソフトウェアまたはDirectX8.0ランタイム（Windowsの場合）が必要です。また、動画ファイルをハードディスクにコピーしてから再生してください。

使用上のご注意

▶ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■避けて欲しい場所
次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。
- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水・浸水、砂かぶりにご注意
水や砂は本機の大敵です。海辺・水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意
本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、xD-ピクチャーカード に水滴がつくことがあります。このようなときは xD-ピクチャーカード を取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは
本機を長時間お使いにならないときは、電池、xD-ピクチャーカード を取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ
- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面は傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■海外で使うとき
- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

電源についてのご注意

使用できる電池

- 本機には、単3形アルカリ乾電池や単3形ニッケル水素電池および充電式バッテリー NH-10を使用してください。単3形マンガン乾電池や単3形ニカド電池は、使用できません。
- アルカリ乾電池は銘柄により電池寿命（使用時間）の差があり、本機に付属のアルカリ乾電池に比べ、電池寿命がかなり短い場合があります。

電池の取り扱いについてのご注意

電池の使いかたを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。以下の事項をお守りください。
- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 電池を交換するときは、2本すべてを新しい電池にお取り替えください。新しい電池とは、アルカリ乾電池では「最近購入した未使用のもの」、単3形ニッケル水素電池では「最近同時にフル充電した電池」のことです。
- 寒冷地（＋10℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。

⚠ 万一、液もれが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

⚠ 電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

単3形ニッケル水素電池、充電式バッテリーNH-10を正しくお使いいただくためのご注意

- デジタルカメラで使用する電池として単3形ニッケル水素電池や充電式バッテリー NH-10（以下ニッケル水素電池）は、アルカリ乾電池に比べてカメラで撮影できる枚数が多いなど優れていますが、ニッケル水素電池の本来の電池性能を発揮させるために使用方法にはご注意が必要です。
- お買い上げ時や長い間使用しなかったニッケル水素電池は「不活性」状態になっている可能性があります。また、まだ十分に使用できる状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」が生じる可能性があります。
  「不活性」状態や「メモリー効果」が発生したニッケル水素電池では、充電後の使用可能時間が短くなる症状が出てきます。この症状を防ぐにはカメラに内蔵している充電池放電機能を使っての放電と充電を数回繰り返すことにより、「不活性」や「メモリー効果」によって一時的に低下した電池性能を回復させ、ニッケル水素電池本来の性能を発揮させることができます。
  「不活性」や「メモリー効果」はニッケル水素電池固有のもので、故障ではありません。
  「充電池放電」操作は60ページを参照ください。

アルカリ乾電池使用時は「充電池放電」機能を使用しないでください。

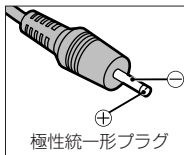
- 単3形ニッケル水素電池の充電は、専用の急速充電器（別売）を使用し、急速充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 急速充電器（別売）では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。単3形ニッケル水素電池、充電式バッテリー NH-10を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- 単3形ニッケル水素電池、充電式バッテリー NH-10は使わなくても自然放電しており、使用可能時間が短くなることがあります。
- 充電式バッテリー NH-10はクレードル（別売）にカメラを取り付けることで充電できます。
- 単3形ニッケル水素電池はクレードルとカメラの組み合わせでは充電できません。
- ニッケル水素電池は、放電し過ぎると急速に劣化します（懐中電灯などでの放電）。放電はカメラの「充電池放電」機能をご使用ください。
- ニッケル水素電池にも寿命があります。放電と充電を繰り返しても使用可能時間が短い場合は、寿命の可能性があります。

■電池の破棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■小形充電式電池のリサイクルについて

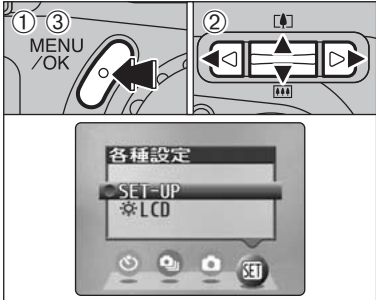
このマークは小形充電式電池（単3形ニッケル水素電池など）のリサイクルマークです。小形充電式電池は埋蔵量の少ない高価な希少資源を使用していますが、これらの金属はリサイクルして再利用できます。
このようにリサイクルすることは、ゴミを減らし、環境を守ることにつながります。ご使用済みの小形充電式電池の廃棄に際しては、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはって、小形充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

ACパワーアダプターについてのご注意

極性統一形プラグ

必ず専用のACパワーアダプターAC-3V（別売、JEITA規格・極性統一形プラグ付き）またはAC-3VW（別売クレードル同梱品、JEITA規格・極性統一形プラグ付き）をお使いください。
弊社専用品以外のACパワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因となることがあります。

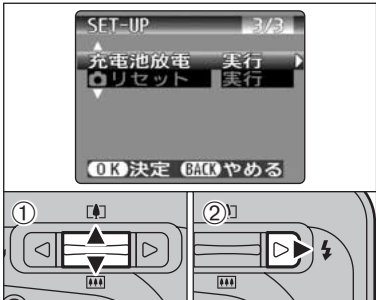
- AC-3Vでは充電式バッテリー NH-10は充電できません。
- 室内専用です。
- カメラのDC入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- カメラのDC入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- ACパワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、ACパワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

ニッケル水素電池の充電池放電の操作

充電池放電機能は、ニッケル水素電池（充電式バッテリー NH-10を含む）のみでご使用ください。
アルカリ乾電池で充電池放電機能を使用すると、乾電池が使用できなくなります。

以下のようなときに充電池放電をご使用ください。

- 充電後の使用可能時間が短くなったとき
- 長期間使用しなかったとき
- 新規にニッケル水素電池または充電式バッテリーを購入したとき

カメラをクレードルにセットしたときや、ACパワーアダプターを使用しているときは、充電池放電を行わないでください。外部から電源供給されるためカメラ内のニッケル水素電池は放電されません。

1

①"MENU/OK" ボタンを押します。
②"◀▶" で "SET" 各種設定を選び、"▲▼" で "SET-UP" を選びます。
③"MENU/OK" ボタンを押します。

! 放電するときはカメラをクレードルからはずしてください。
! アルカリ乾電池は充電池放電の操作を行わないでください。

2

①"▲▼" で "充電池放電" を選びます。
②"▶" を押します。

3

①"◀▶" で "実行" を選びます。
②"MENU/OK" ボタンを押します。
画面が切り換わり放電が開始されます。電池残量表示が赤点灯から赤点滅になり放電が終了すると、カメラの電源が切れます。

! 放電中に操作を中止したいときは、"BACK" ボタンを押します。

xD-ピクチャーカード™についてのご注意

■ xD-ピクチャーカード について
デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体xD-Picture Card（ xD-ピクチャーカード ）です。
xD-ピクチャーカード の中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像ファイルが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像ファイルを消去したり、再び記録することができます。
xD-ピクチャーカード 個々にはID（番号）が割り振られています。IDを利用した著作権保護、その他の仕組みを持つ機器で使用できます。

■ファイル保持について
以下の場合、記録したファイルが消滅（破壊）することがあります。記録したファイルの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
＊お客様または第三者が xD-ピクチャーカード の使いかたを誤ったとき
＊カメラやパソコンなどから xD-ピクチャーカード へアクセス中（データ通信中など）にカードを取り出したり、機器の電源を切ったとき
＊その他、誤った使いかたをしたとき

大切なファイルは別のメディア（MOディスク、CD-R、CD-RW、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■取扱上のご注意
- xD-ピクチャーカード は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- xD-ピクチャーカード をカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- xD-ピクチャーカード の記録中・消去（フォーマット）中は、絶対に xD-ピクチャーカード を取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。 xD-ピクチャーカード が破壊されることがあります。
- 指定以外の xD-ピクチャーカード はお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- xD-ピクチャーカード は精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管は避けてください。
- 高温多湿な場所、または腐食性のある環境下でのご使用・保管は避けてください。
- xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）がゴミや皮脂などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布などでふいてください。
- 保管や持ち運びする場合は専用ケースか専用キャリングケースに入れることをおすすめします。
- 静電気を帯びた xD-ピクチャーカード をカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出した xD-ピクチャーカード が温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- xD-ピクチャーカード には寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このようなときは新しいものをお買い求めください。
- xD-ピクチャーカード にはラベル類は一切はらないでください。 xD-ピクチャーカード の出し入れの際、故障の原因になります。
- 万一、弊社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しい xD-ピクチャーカード とお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■ xD-ピクチャーカード をパソコンで使用する場合のご注意
- パソコンで使用したあとの xD-ピクチャーカード を使って撮影する場合、 xD-ピクチャーカード のフォーマットはカメラで行ってください。
- xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットして撮影・記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンで xD-ピクチャーカード のフォルダ名、ファイル名の変更・消去などの操作を行わないでください。 xD-ピクチャーカード がカメラで使用できなくなることがあります。
- xD-ピクチャーカード 上の画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像ファイルを編集してください。
- カメラで使用するファイル以外のコピーはしないでください。

xD-ピクチャーカード™の主な仕様

形　　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード xD-Picture Card（ xD-ピクチャーカード ）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～+40℃ 湿度 80%以下（結露しないこと）
外形寸法	25mm×20mm×2.2mm （幅×高さ×厚み）

警告表示

▶液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処　置
（赤点灯） （赤点滅）	カメラの電池の残量が減っている、または少ない。	新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
!	シャッター速度が遅く、手ブレを発生しやすい状態。	ストロボ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚を使用してください。
!AE	AE連動範囲外。	適正な明るさ（露出）ではありませんが、撮影できます。
!AF	AF（オートフォーカス）がうまく働かない。	● 暗い場合は被写体から2m程度離れて撮影してください。 ● AFロック撮影をしてください。
カードがありません	xD-ピクチャーカード が入っていない。	xD-ピクチャーカード をセットしてください。
フォーマットされていません	● xD-ピクチャーカード がフォーマット（初期化）されていない。 ● xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）が汚れている。 ● カメラが故障している。	● xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットしてください。 ● xD-ピクチャーカード の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は xD-ピクチャーカード を交換してください。 ● 弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
カードエラー	● xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）が汚れている。 ● xD-ピクチャーカード が壊れている。 ● xD-ピクチャーカード のフォーマットが異常。 ● カメラが故障している。	● xD-ピクチャーカード の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は xD-ピクチャーカード を交換してください。 ● 弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
空き容量がありません	xD-ピクチャーカード に空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のある xD-ピクチャーカード を使用してください。
再生できません	● 正常に記録されていないファイルを再生しようとした。 ● xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）が汚れている。 ● カメラが故障している。 ● 本機以外で記録した動画を再生しようとした。	● 再生することはできません。 ● xD-ピクチャーカード の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は xD-ピクチャーカード を交換してください。 ● 弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 ● 再生することはできません。
コマNO．の上限です	コマNO.が999―9999に達している。	①フォーマットした xD-ピクチャーカード をカメラにセットします。 ②SET–UPメニューでコマNO.を「新規」にします。 ③撮影します（コマNO.が「100-0001」より開始されます）。 ④SET–UPメニューでコマNO.を「連番」にします。
記録できませんでした	● xD-ピクチャーカード と本体の接触異常または xD-ピクチャーカード の異常のため記録できない。 ● 撮影した画像が xD-ピクチャーカード の空き容量を超えて記録できない。	● xD-ピクチャーカード を入れ直すか電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 ● 新しい xD-ピクチャーカード を使用してください。
プロテクトされています	プロテクトされているファイルを消去しようとした。	プロテクトしたファイルは消去できません。プロテクトを解除してください。

警告表示	警告内容	処　　置
これ以上予約 できません	DPOFのコマ設定で1000コマ以上のプリント指定をした。	同一 xD-ピクチャーカード 内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。別の xD-ピクチャーカード にプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
フォーカスエラー ズームエラー	カメラが誤作動または故障している。	●レンズ部に触らないようにして、電源を入れ直してください。 ●電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
設定できません	プリント予約で動画を選択した。	動画はプリント予約できません。

困ったときは

▶故障とお考えになる前に、もう一度お調べください。処置を行っても改善されない場合は弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
電源が入らない。	● 電池が消耗している。 ● 電池が逆に入っている。 ● 電池カバーが正しく閉まっていない。 ● ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。	● 新しい電池または充電済みの電池と交換してください。 ● 電池を正しい方向に入れてください。 ● 電池カバーを正しく閉めてください。 ● 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
電源が途中で切れる。	電池が消耗している。	新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
電池の消耗が早い。	● 温度が極端に低いところで使っている。 ● 端子が汚れている。 ● 電池の寿命。	● 電池をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。 ● 電池の端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。 ● 新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	● **xD-ピクチャーカード** が入っていない。 ● **xD-ピクチャーカード** に空き容量がなく、これ以上記録できない。 ● **xD-ピクチャーカード** がフォーマットされていない。 ● **xD-ピクチャーカード** の接触面（金色の部分）が汚れている。 ● **xD-ピクチャーカード** が壊れている。 ● 2分間何も操作しなかった。 ● 電池が消耗している。	● **xD-ピクチャーカード** を入れてください。 ● 新しい **xD-ピクチャーカード** を入れるか、不要なコマを消去してください。 ● カメラでフォーマットしてください。 ● **xD-ピクチャーカード** の接触面を乾いたきれいな布でふいてください。 ● 新しい **xD-ピクチャーカード** を入れてください。 ● 電源を入れてください。 ● 新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
ストロボ撮影ができない。	● ストロボ発光禁止になっている。 ● ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。 ● 電池が消耗している。	● ストロボをオート、赤目軽減または強制発光にします（ストロボ撮影できないモードがあります）。 ● 充電が完了してからシャッターボタンを押してください。 ● 新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
ストロボを発光禁止以外に設定できない。	連写が設定されている。	連写をOFFに設定してください。
ピクセルが“1M”しか選べない。	撮影メニューの感度が800（高感度撮影）に設定されている。	撮影メニューの感度を400以下に設定してください。
ストロボが発光したのに再生画面が暗い。	● 被写体が遠い。 ● ストロボ/ストロボ調光センサーに指が掛かっている。	● ストロボ撮影可能距離内で撮影してください。 ● カメラを正しく構えてください。
画像がぼやけている。	● レンズが汚れている。 ● 暗い被写体を撮影した。 ● マクロを設定したまま、遠景を撮影した。 ● マクロを設定しないで、近距離を撮影した。 ● オートフォーカスの苦手な被写体を撮影した。	● レンズを清掃してください。 ● 被写体から2m程度離れて撮影してください。 ● マクロを解除してください。 ● マクロを設定してください。 ● AF/AEロック撮影をしてください。
画像に点状のノイズがある。	気温が高い環境でスローシャッター（長時間露光）撮影した。	CCDの特性によるもので故障ではありません。
xD-ピクチャーカード のフォーマットができない。	**xD-ピクチャーカード** の接触面（金色の部分）が汚れている。	**xD-ピクチャーカード** の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。
1コマ消去でコマが消せない。	コマがプロテクトされている。	プロテクトしたカメラでプロテクトを解除してください。
全コマの消去で、すべてのコマが消せない。		

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
カメラのモードダイヤルを操作しても作動しない。	● カメラの誤作動。 ● 電池が消耗している。	● 電池・ACパワーアダプターをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。 ● 新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
テレビに画像が出ない。	● 動画再生中に専用ビデオケーブルを接続した。 ● カメラとテレビの接続が間違っている。 ● テレビの入力が「テレビ」になっている。 ● ビデオ出力が "PAL" になっている。	● 動画再生を停止させてから、接続し直して再生してください。 ● 正しく接続し直してください。 ● テレビの入力を「ビデオ」にしてください。 ● "NTSC"に設定してください(➡47ページ)。
PC（パソコン）接続で、カメラの液晶モニターに撮影画面が表示される。	● PCまたはカメラにFinePix A310専用USBケーブルが正しく接続されていない。 ● PCの電源が入っていない。	● 正しく接続してください。 ● PCの電源を入れてください。
カメラが正常に動作しなくなった。	カメラが予期しない状態になっている。	電池、ACパワーアダプターをいったん取り出して、再び取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

主な仕様

システム

型式	デジタルカメラ
有効画素数	310万画素
撮像素子	1/2.7型スーパーCCDハニカム HR 原色フィルター採用（総画素数：314万画素）
記録画素数（ピクセル）	静止画：2816×2120/2048×1536/ 1280×960/640×480（6M/3M/1M/03M） ハニカム信号処理により最大2816×2120（600万画素） 動　画：320×240/160×120（10フレーム/秒）
記録メディア	xD-ピクチャーカード 16/32/64/128/256MB
記録方式	静止画：DCF準拠（Exif Ver.2.2 JPEG準拠）/DPOF対応 動　画：DCF準拠（AVI形式 Motion JPEG）
レンズ	フジノン光学式3倍ズームレンズ 開　放：F2.8～F4.8
絞り	F2.8～F4.8/F7.0～11.6　自動切り換え
焦点距離	f=5.7～17.1mm （35mmカメラ換算：38mm～114mm相当）
撮影可能範囲	標　準：約60cm～∞ マクロ：約10cm～約80cm
シャッタースピード	2秒～1/2000秒（メカニカルシャッター併用）
フォーカス	TTLコントラスト方式　オート
撮像感度	ISO AUTO（A）/200（M）/400/800相当（800時は1Mモード固定）
測光	TTL64分割測光
露出制御	プログラムAE
露出補正	－2.1EV～＋1.5EV　0.3EVステップ（マニュアル撮影モード時）
白バランス	オート（A、SP） マニュアル撮影（M）モード時：7ポジション選択可能
ファインダー	実像式光学ズームファインダー　視野率約 80%
液晶モニター	1.5型（対角3.7cm）　6万画素　アモルファスシリコンTFT 視野率 92%
ストロボ	方式：調光センサーによるオートストロボ 撮影可能距離：広角：約 0.3m～約 5.0m（約0.3m～約0.8m：マクロ） 望遠：約 0.3m～約 4.0m 発光モード：オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止/スローシンクロ/ 赤目軽減+スローシンクロ
セルフタイマー	約10秒

■ **xD-ピクチャーカード 標準撮影枚数/記録時間**

撮影枚数/記録時間/ファイルサイズは被写体により多少の増減があります。また、実際の撮影枚数は **xD-ピクチャーカード** の容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル	6M 6M	3M 3M	1M 1M	03M 0.3M	動画 320	動画 160
記録画素数	2816×2120 （約600万）	2048×1536 （約315万）	1280×960 （約123万）	640×480 （約31万）	320×240	160×120
画像1枚のファイルサイズ	1.5MB	780KB	470KB	130KB	—	—
DPC-16（16MB）	10	19	33	122	1分38秒	5分37秒
DPC-32（32MB）	21	40	68	247	3分19秒	11分19秒
DPC-64（64MB）	43	81	137	497	6分40秒	22分45秒
DPC-128（128MB）	86	162	275	997	13分22秒	45分35秒
DPC-256（256MB）	173	325	550	1997	26分46秒	91分17秒

入・出力端子

VIDEO OUT（映像出力）端子	NTSC/PAL方式 ミニミニ（φ2.5mm）ジャック
（専用USB）端子	パソコンへのファイル転送、および別売のクレードルと接続
DC入力端子	専用ACパワーアダプター AC-3V（別売）接続 クレードル（別売）付属ACパワーアダプターAC-3VW接続

電源部、その他

電源	単3形アルカリ乾電池 2本使用 充電式バッテリー NH-10　1個使用（別売） 単3形ニッケル水素電池 2本使用（別売） クレードル（別売）付属ACパワーアダプターAC-3VW使用 専用ACパワーアダプター AC-3V使用（別売）
使用条件	温度0℃〜+40℃　湿度80%以下（結露しないこと）
電池作動可能枚数の目安	（下表参照）

電池の種類	液晶モニター ON状態	液晶モニター OFF状態
単3形アルカリ乾電池 LR6	約160枚	約250枚
充電式バッテリー NH-10	約280枚	約400枚
単3形ニッケル水素電池 HR-AA（ニッケル水素1700）	約250枚	約350枚

電池作動可能枚数は、以下の当社測定条件による連続して撮影できる撮影枚数の目安です。
- 使用電池：付属のアルカリ乾電池を使用
  ニッケル水素電池、充電式バッテリー NH-10はフル充電した電池を使用
- 撮影条件：常温、ストロボ使用率50%で測定
- 注意：アルカリ乾電池の容量やニッケル水素電池および充電式バッテリー NH-10の充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示す電池作動可能枚数を保証するものではありません。低温時では電池作動可能枚数が少なくなります。

本体外形寸法	97.0mm×63.9mm×33.0mm（幅×高さ×奥行き）＊突起部含まず
本体質量	約155g（電池、 xD-ピクチャーカード 含まず）
撮影時質量	約210g（電池、 xD-ピクチャーカード 含む）
付属品	5ページをご参照ください。
別売アクセサリー	57ページをご参照ください。

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。
＊レンズの特性により撮影した画像の端がゆがむ場合がありますが、故障ではありません。

用語の解説

EV	：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。 CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。
Exif（イグジフ） ファイル形式	：Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFFやJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダ構造、フォルダ名についての規定を含めて、DCFがJEITA規格になっています。
JPEG（ジェイペグ）	：Joint Photographic Experts Groupの略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率は選択できますが、圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。
Motion JPEG （モーション ジェイペグ）	：画像と音声の両方をひとつのファイルで扱うためのファイルフォーマットAVI（Audio Video Interleave）形式の1種類であり、ファイル内の画像はJPEG形式で記録されています。 パソコンでは下記のソフトで再生できます。 Windows　：Windows Media Player　＊DirectX8.0以降必要 Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降
白バランス （ホワイトバランス）	：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整を白バランスを合わせるといいます。
不活性	：ニッケル水素電池は、長期間使用しないで保管されていたとき、電池内部に電気が流れにくい物質が増加し休眠状態になる場合があります。このような電池の状態を不活性と呼びます。 不活性状態のニッケル水素電池は電気が流れにくいため本来の電池性能を発揮することができない場合があります。
フレームレート	：フレームレートとは1秒間に撮影または再生される画像の数（コマ数）を表す単位で、例えば1秒間に10コマを連続して撮影している場合は10フレーム/秒と記します。 参考　テレビは約30フレーム/秒です。
メモリー効果	：ニッケル水素電池を最後まで使い切らないで充電する操作を繰り返すと、本来の電池性能が低下する場合があります。このような現象をメモリー効果と呼びます。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。この期間は保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。
使いかたの問題か、故障か迷うときは、弊社DIサポートセンターへお問い合わせください。

■故障と思われるときは

下記の中からお客様のご都合によりお選びください。
①FinePixクイックリペアサービスをご利用いただく
②弊社サービスステーションにお持ちいただく（持込修理）
お急ぎのお客様は「FinePix特急修理30分」をご利用ください。
③弊社サービスステーションに宅配便等で送付いただく（送付修理）
④お買上げ店にお持ちいただく
なお、集配ルートの都合上、④の方法よりは、①もしくは②、③の方法が、お預かりの期間は短くなります。
上記①の場合のサービス料金、②④の場合の交通費、③の場合の送料などの諸費用はお客様にてご負担願います。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 保証規定による修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または弊社サービスステーションにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。
- 修理品の持込修理/送付修理を弊社サービスステーションに依頼される場合には、「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
- 修理料金のお見積もりをご希望の場合は、「修理依頼票」の「お見積もり」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。なお、お見積もりは有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合は、修理をお断りする場合があります。

■修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■交換した部品について

交換した部品は、今後の品質向上に役立てるため、弊社にて引き取らせていただいております。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

■修理料金の支払い方法について

①FinePixクイックリペアサービスをご利用いただいた場合
修理完了品は、代金引換となりますので、サービス料金とともに、運送業者に直接現金でお支払いください。
②弊社サービスステーションにお持ちいただいた場合（持込修理、特急修理30分）
修理完了品お引き取り時、窓口でお支払いください。
③弊社サービスステーションに宅配便等で送付いただいた場合（送付修理）
修理完了品は、代金引換となりますので、運送業者に直接お支払いください。
④お買上げ店にお持ちいただいた場合
お持ちいただいたお店にご確認ください。

アフターサービスについて

■修理の受付は…

修理品の「FinePix特急修理30分」・「FinePixクイックリペアサービス」・「持込修理」・「送付修理」の申し込み方法、受付場所を記載します。
下記に記載する修理サービスにおける修理品お預かり期間は、お買上げ店へお持ちいただく場合よりも、はるかに短くなります。

●【FinePix特急修理30分】：30分を目安にその場で修理を行う修理サービスです。

・下記7カ所の富士フイルムサービスステーションに直接お越しいただいたお客様を対象に、30分を目安にその場で修理しお渡しするサービスです。
・専任技術者が対応しますので、迅速な修理を行うことができます。
・特急修理のための特別なサービス料金は不要。ただし有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。修理料金は、修理完了品お引き取り時にサービスステーション窓口でお支払いください。
・本書に地図の記載がないサービスステーション所在地は、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/ss）をご覧ください。
※本サービスの詳細は、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/qa.html）をご覧ください。

東　京：富士フイルムサービスステーション	〒105-0022	東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	TEL（03）3436-1315
札　幌：富士フイルムサービスステーション	〒060-0002	札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション	〒980-0811	仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）265-2149
名古屋：富士フイルムサービスステーション	〒460-0008	名古屋市中区栄1-12-19	TEL（052）202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション	〒541-0051	大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル	TEL（06）6260-0915
広　島：富士フイルムサービスステーション	〒732-0816	広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション	〒812-0018	福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-4863

●【FinePixクイックリペアサービス】：お預かりからお届けまでが最短3日の修理サービスです。

・「お預かり」-「梱包」-「修理」-「お届け」までをワンパックにしたサービスです。
・当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了後にご自宅までお届けします。
・全国一律のサービス料金(保証期間内外を問わずお客様にご負担いただきます。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です)。
・料金の支払いは、修理品お届け時に、当社指定宅配業者に直接現金でお支払いください。
・サービスの申し込みは、インターネット・電話・ファクスのいずれかの方法から選択してください。
　✽インターネット：http://www.fujifilm.co.jp/qa.html　✽専用電話：03-3436-2224　✽専用ファクス：03-3431-3470
※本サービスの詳細は、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/qa.html）をご覧ください。

●【持込修理】：サービスステーションにお持ちいただく場合

・上記7カ所のサービスステーションで受け付けております。お持ちいただく際には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
・有償修理の場合の修理料金は、修理品お引き取りの際、サービスステーション窓口でお支払いください。

●【送付修理】：サービスステーションに直接ご送付いただく場合

・上記の7カ所のサービスステーションで受け付けております。送付時には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
・有償修理の場合の修理料金は代金引換となりますので、運送業者に直接お支払いください。

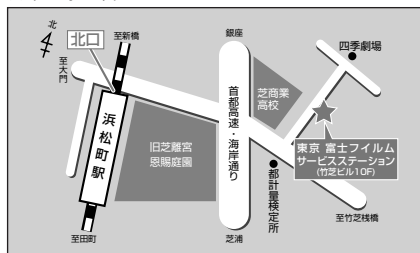
■修理に関する情報は…

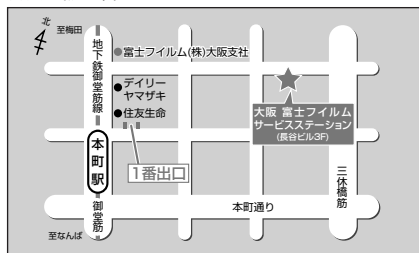
● 修理納期検索サービス

東京もしくは大阪のサービスステーションに、直接修理品を送付あるいは持ち込みされた場合に限り、
弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/qa.html）で修理完了予定日を検索することができます。

● FinePix修理概算見積もりサービス

・弊社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金が、インターネット上で無料で算出することができます。
※本サービスの詳細は弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/qa.html）をご覧ください。

★東　京：富士フイルムサービスステーション

JR山手線浜松町駅北口下車　徒歩5分
TEL（03）3436-1315
【受付時間】
　月～金　午前 9：00～午後5：40
　土　　　午前10：00～12：00　午後1：00～4：00

★大　阪：富士フイルムサービスステーション

地下鉄御堂筋線本町駅1番出口下車　徒歩5分
TEL（06）6260-0915
【受付時間】
　月～金　午前9：00～午後5：40
　土　　　午前10：00～12：00　午後1：00～4：00

FinePix A310 修理依頼票

※弊社サービスステーションに故障品の送付あるいはお持込みの際には、お手数をおかけして申し訳ありませんが、迅速・適切な修理をするために必要事項をご記入の上、製品に添付してください。
※下表の□は、該当する項目にチェック（✓）を入れてください。

フリガナ		電話番号	
お名前		ファクス番号	
ご住所	〒　　—		
ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体底面に記載してある8けたの番号です。 修理お問い合わせ時にご連絡ください。	No.		
修理品への添付	□保証書　□xD-ピクチャーカード（　　MB）　□電池 □（　　）□（　　） □（　　）□（　　）		
故障内容（故障時の様子や発生頻度、症状など具体的にご記入ください。）			
お見積もり	□インターネットでの修理概算見積もりサービスを使用したので不要 （使用結果を下段にご記入ください） □必要（修理金額　　円以上見積もり）　□不要		
修理概算見積もりサービス使用結果 ※インターネットで見積もりサービスを使用された場合にご記入ください。	故障現象： 修理費用：		
お見積もり連絡方法	□電話　□ファクス		

※本紙は拡大コピーしてお使いください。

★名古屋：富士フイルムサービスステーション

地下鉄東山線伏見駅6番出口下車　徒歩5分
TEL（052）202-1851
【受付時間】
　月～金　午前9：00～12：00　午後1：00～5：40
　土　　　午前10：00～12：00　午後1：00～4：00

FUJIFILM 富士写真フイルム株式会社

●本製品に関するお問い合わせは…

富士フイルムFinePixサポートセンター

ナビダイヤル

0570-00-1060
（市内通話料金でご利用いただけます）

携帯電話・PHSからは…

TEL 0424-81-1673
FAX 0424-81-0162
（月曜日～金曜日 午前9：00～午後5：40 土日祝祭日 休み）
※曜日、時間帯によっては電話がかかりづらい場合がありますのでご了承ください。

●本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/

弊社ホームページの自己解決に役立つ「Ｑ＆Ａ検索」もご利用ください。

●修理の受付けは…

本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日 午前9：30～午後5：00）TEL 03-3406-2982

FGS-305107-Ni